

令和元年6月20日開会

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

令和元年 第 2 回

杵築市議会定例会（別冊）

（経営状況報告書）

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

経営状況報告書

報告第18号 一般財団法人杵築市総合振興センターの経営状況
について - 2 ページ -

報告第19号 公益社団法人杵築市地域活性化センターの経営状
況について - 23 ページ -

報告第20号 株式会社きっとすきの経営状況について
- 62 ページ -

平成31年度

一般財団法人杵築市総合振興センター
事業計画書

平成31年度事業計画書

1. ふるさと便事業

ふるさと杵築にゆかりのある方々にお中元、お歳暮時季の年2回、「ふるさときつきの味と香り便り」として発送します。

商品は、「温泉うなぎ蒲焼」や「杵築紅茶」、「杵築のお茶菓子」等の杵築ブランド認定商品や「牛肉」や「はも」といった杵築の特産品を中心に年間900件の発送を目指します。

平成30年度実績 1,005件(29年度792件、28年度870件)

コース	H30年7月	件数	H30年12月	件数
Aコース	ハウスみかん(1.2kg)、きつき紅茶水出しブレンド(40g)、きつき茶水出し煎茶(5g×20)、温デココンフィチュール(140g)、しいたけ玉ねぎドレッシング(200ml)、サクラ醤油(150ml)	122	温州みかん(1kg)、きつき紅茶ミニパック、味噌(1kg)、どんこしいたけ(50g)、別府湾ちりめん(90g)、南高梅(300g)、智恵美人純米酒(300ml)、杵築のお茶菓子(お茶サブレ又はお茶ダコワーズ)	138
Bコース	ハウスみかん(2.5kg)、美娘ゼリー	134	ハウス美娘(2.5kg)	111
Cコース	山香産焼肉用ロース(400g位)	104	豊後牛すき焼き用スライス(400g位)	125
Dコース	温泉うなぎ蒲焼(130g×2パック)、タレ・山椒(4袋)	108	骨切りはも切身(300g)、車海老(180g)、もみじおろし、和風だしスープ、かぼすポン酢	90
Eコース			温泉うなぎ蒲焼(130g×2パック)、たれ・山椒(4袋)	73
計		468		537

2. 杵築ふるさと産業館管理運営事業

杵築ふるさと産業館は平成8年に開店し以来20年以上が経過しました。平成18年度から当財団が市の指定管理を受け管理運営を行っており、新たに平成29年度から平成31年度までの指定管理を受託しています。

本施設は、杵築市の特産品を市内外のお客様に紹介・販売することや、観光情報の発信を行うことによる観光客の増加を目的として、これまで運営してきました。近年では、観光バスの発着、ボランティアガイドの起点としての重要性が高まっています。

平成31年度においても、杵築ブランド認定商品販売の強化に努め、ポップを使った商品説明等を行い、お客様に分かりやすい商品陳列を目指し売上アップに努めます。

◆運営改善に向けた取組み

- ①店内レイアウトの充実(杵築ブランド認定商品コーナーの拡大等)
- ②人気商品や商品説明のポップ作成
- ③インバウンド向け取扱い商品の強化

平成30年度各種実績(H31.1月末時点)

内容	数	単位
観光バス	(日本)	339 台
	(中国・韓国他)	1,178 台
	乗車人数	22,377 人
レジ通過者数	13,125	人
受託販売業者数	80	業者
受託販売取扱商品数	775	品

平成30年度売上(H31.1月末時点)

内容	売上金額(円)
ふるさと産業館総売上	23,477,000
(内受託販売による売上額)	18,419,672
(内仕入販売による売上額)	5,057,328

3. ケーブルテレビ事業

①魅力的な番組づくりによる杵築市の発展への寄与

平成24年度から、杵築市よりケーブルテレビの番組制作の委託を受け、平成29年度からはその内容を拡充し、伝送路の保守管理等も行ってまいりました。

これまでの受託内容を評価され、平成31年度からはケーブルテレビ業務の指定管理者に指名されることとなりました。これを受け、更に業務への邁進を図ってまいります。

(1) 積極的な地域情報の発信と、経営基盤の強化

市からケーブルテレビの指定管理を受けるにあたり、将来的な人口減に対応するため、広告費等による経営改善を求められています。

これまで、視聴者に満足いただけるよう番組内容の見直しを行ってまいりましたが、広告費を出しても良いと思っただけのような、更に魅力的な番組作りを行います。

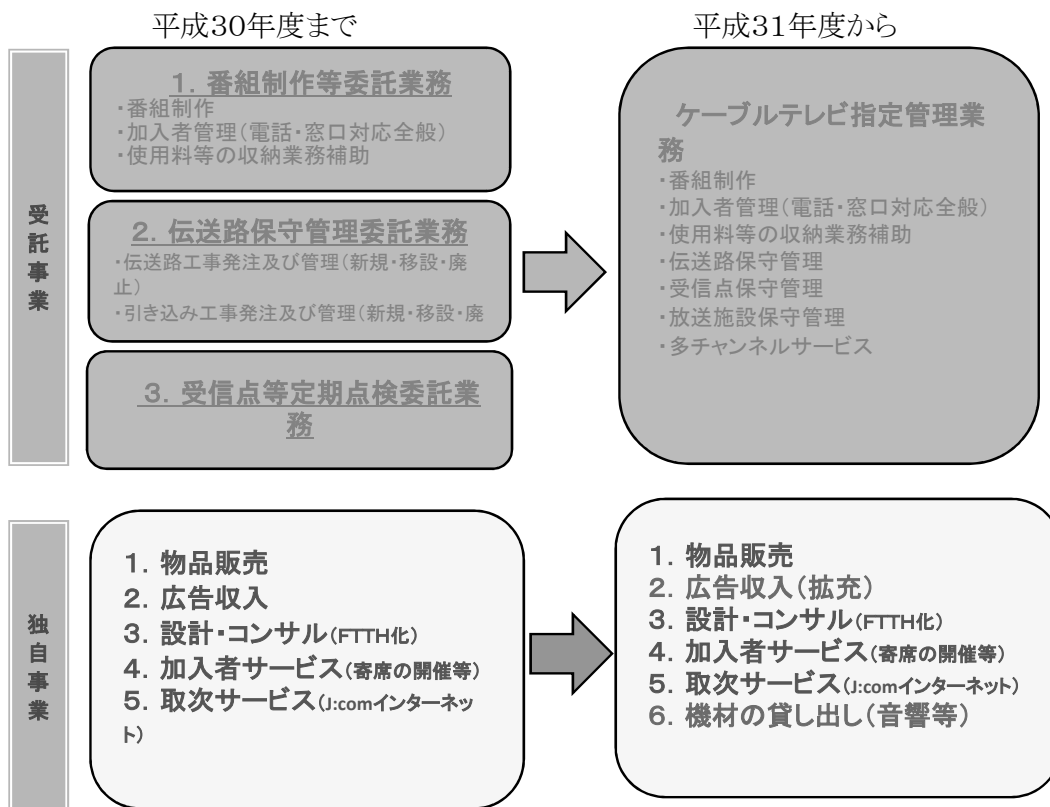
具体的には、市内の時期を的確にとらえたイベントやお店の紹介、また、市外の情報を県内ケーブル局と協力しながら配信していきます。

(2) 番組制作技術力の充実・強化

昨年度は、スタッフにドローン講習等を行いました。平成31年度も研修等を通じて、更なるスキルアップに努めます。

②ケーブルテレビ事業部門の運営基盤強化の取り組み

平成31年度からケーブルテレビの指定管理を受けることになり、更なる経営基盤の強化を目指します。もちろん公営のケーブルテレビですので、あくまで市及び市民の皆様の公共サービスとしての範囲内ですが、物品の貸し出しや、民間からの番組制作の受託等を目指します。



平成31年度

一般財団法人杵築市総合振興センター
予 算 書

平成31年度当初予算

(総則)

第1条 平成31年度当初予算は、次に定めるところによる。

(収益的収入及び支出)

第2条 収益的収入及び支出の予算額を次のとおり定める。

		収	入	
第1款	事業収益	235,536	千円	
第2款	事業外収益	564	千円	
	計	236,100	千円	

		支	出	
第1款	事業原価	231,614	千円	
第2款	管理費	4,485	千円	
第3款	予備費	1	千円	
	計	236,100	千円	

平成31年度予算実施計画

[収 入]

(単位:千円)

款	項	金 額
1.事業収益		235,536
	1.ふるさと便事業収益	4,500
	2.杵築ふるさと産業館売上手数料	4,440
	3.杵築ふるさと産業館販売収益	9,000
	4.受託料	215,000
	5.家賃収入	672
	6.施設使用料	24
	7.ケーブルテレビ事業収益	1,900
2.事業外収益		564
	1.受取利息	4
	2.雑収益	60
	3.手数料	500
収 入 合 計		236,100

[支 出]

(単位:千円)

款	項	金 額
1.事業原価		231,614
	1.ふるさと便事業費	4,283
	2.杵築ふるさと産業館事業費	15,431
	3.ケーブルテレビ事業費	211,900
2.管理費		4,485
	1.一般管理費	3,944
	2.福利厚生費	150
	3.法定福利費	390
	4.雑損失	1
3.予備費		1
	1.予備費	1
支 出 合 計		236,100

平成31年度

一般財団法人杵築市総合振興センター
予 算 に 関 す る 説 明 書

平成31年度当初予算説明書

[収 入]

(単位:千円)

款	項	目	予 算 額	節		前年度予算額
				区 分	金 額	
1.事業収益			235,536		235,536	133,358
	1.ふるさと便事業 収益		4,500		4,500	4,500
		1.売上	4,500	1.売上	4,500	4,500
	2.杵築ふるさと産業 館売上手数料		4,440		4,440	4,440
		1.売上手数料	4,440	1.売上手数料	4,440	4,440
	3.杵築ふるさと産業 館販売収益		9,000		9,000	12,600
		1.売上	9,000	1.売上	9,000	12,600
	4.受託料		215,000		215,000	106,700
		1.受託料	215,000	1.受託料	5,000	5,000
				(ふるさと産業館)		
				(ケーブルテレビ事業委託料)	210,000	0
				(ケーブルテレビ番組制作等)	0	75,000
				(ケーブルテレビ伝送路保守管理)	0	20,000
				(ケーブルテレビ受信点等定期点検)	0	6,700
	5.家賃収入		672		672	672
		1.家賃収入	672	1.家賃収入	672	672
	6.施設使用料		24		24	56
		1.施設使用料	24	1.施設使用料	24	56
	7.ケーブルテレビ 事業収益		1,900		1,900	4,390
		1.売上	300	1.売上	300	2,990
		2.広告収入	1,600	2.広告収入	1,600	1,400
2.事業外収益			564		564	564
	1.受取利息		4		4	4
		1.受取利息	4	1.受取利息	4	4
	2.雑収益		60		60	60
		1.雑収益	60	1.雑収益	60	60
	3.手数料		500		500	500
		1.手数料	500	1.手数料	500	500
収 入 合 計			236,100		236,100	133,922

[支 出]

(単位:千円)

款	項	目	予算額	節		前年度予算額
				区 分	金 額	
1.事業原価			231,614		231,614	129,112
	1.ふるさと便事業費		4,283		4,283	4,089
		1.ふるさと便事業費		9.消耗品費	60	62
				12.印刷製本費	21	21
				15.通信運搬費	1,000	786
				17.手数料	12	10
				23.特産品購入費	3,150	3,150
				27.公課費	40	60
	2.杵築ふるさと産業館事業費		15,431		15,431	18,933
		1.杵築ふるさと産業館事業費		2.給料	6,666	6,666
				9.消耗品費	120	50
				10.燃料費	50	60
				13.光熱水費	1,575	1,560
				23.特産品購入費	6,420	10,047
				27.公課費	600	550
	3.ケーブルテレビ事業費		211,900		211,900	106,090
		1.ケーブルテレビ事業費		2.給料	37,000	40,000
				6.報償費	5,200	0
				7.旅費	700	600
				9.消耗品費	600	250
				10.燃料費	20,500	190
				11.会議費	200	100
				12.印刷製本費	1,700	1,600
				14.修繕料	500	300
				15.通信運搬費	1,000	300
				16.広告料	300	0
				17.手数料	1,800	1,800
				18.保険料	650	160
				19.委託料	96,600	22,500
				20.使用料及び賃借料	2,000	200
				21.工事請負費	20,000	23,000
				24.備品購入費	5,800	1,500
				25.負担金補助及び交付金	1,800	0
				27.公課費	4,850	2,700
				29.雑費	800	300
				31.福利厚生費	800	600
				32.法定福利費	6,000	5,740
				33.番組制作費	1,200	500
				34.退職金積立費	1,900	1,250
				35.予備費	0	2,500

[支 出]

(単位:千円)

款	項	目	予算額	節		前年度予算額	
				区 分	金 額		
2.管理費			4,485		4,485	4,809	
	1.一般管理費		3,944		3,944	4,268	
		1. 経費			7.旅費	10	30
					8.交際費	100	100
					9.消耗品費	300	300
					11.会議費	15	15
					12.印刷製本費	30	30
					14.修繕料	200	200
					15.通信運搬費	120	200
					16.広告料	100	200
					17.手数料	100	100
					18.保険料	46	22
					19.委託料	736	730
					20.使用料及び賃借料	1,480	1,268
					21.工事請負費	1	1
					24.備品購入費	100	100
					25.負担金補助及び交付金	72	72
					27.公課費	200	400
					29.雑費	144	200
					30.減価償却費	190	300
	2.福利厚生費		150		150	150	
	1. 福利厚生費			31.福利厚生費	150	150	
	3.法定福利費		390		390	390	
	1. 法定福利費			32.法定福利費	390	390	
	4.雑損失		1		1	1	
	1. 雑損失			1.雑損失	1	1	
3.予備費			1		1	1	
	1.予備費		1		1	1	
		1. 予備費			30.予備費	1	1
支 出 合 計			236,100		236,100	133,922	

平成30年度

一般財団法人杵築市総合振興センター
事業報告書

I. 事業概要

当センターの主な事業は、①ふるさと便事業、②杵築ふるさと産業館事業、③ケーブルテレビ事業の3事業である。

上記3事業を合計した杵築市総合振興センター全体では、収益166,362,730円に対し支出153,193,837円で、13,168,893円の利益となった。

①ふるさと便事業

7月に468件、12月に537件の合計1,005件を発送した。発送した商品は以下の表のとおりである。

ふるさと便事業収益が5,025,000円、ふるさと便事業費は4,626,421円で398,579円の利益となった。

コース	7月	件数	12月	件数
Aコース	ハウスみかん(1.2kg)、きつき紅茶水出しブレンド(40g)、きつき茶水出し煎茶(5g×20)、温デココンフィチュール(140g)、しいたけ玉ねぎドレッシング(200ml)、サクラ醤油(150ml)	122	温州みかん(1kg)、きつき紅茶ミニパック、味噌(1kg)、どんこしいたけ(50g)、別府湾ちりめん(90g)、南高梅(300g)、智恵美人純米酒(300ml)、杵築のお茶菓子(お茶サブレ又はお茶ダコワーズ)	138
Bコース	ハウスみかん(2.5kg)、美娘ゼリー	134	ハウス美娘(2.5kg)	111
Cコース	山香産焼肉用ロース(400g位)	104	豊後牛すきやき用スライス(400g位)	125
Dコース	温泉うなぎ蒲焼(130g×2パック)、たれ・山椒(4袋)	108	骨切りはも切身(300g)、車海老(180g)、もみじおろし、和風だしスープ、かぼすポン酢	90
Eコース			温泉うなぎ蒲焼(130g×2パック)、たれ・山椒(4袋)	73
計		468		537

②杵築ふるさと産業館事業

81の業者及び個人からの商品を受託販売する売上手数料収益が4,168,015円、直接仕入れによる販売収益が5,927,946円。また本館、別館、農畜産物加工センターに入居している4事業者(食事処2業者、喫茶、観光協会)からの家賃収入として672,000円。その他、施設使用料26,000円と事業外収益427,247円、受託料5,000,000円を含め、計16,221,208円の収益となった。

一方、ふるさと産業館事業費は13,245,615円と管理費3,876,377円の計17,121,992円で900,784円の損失となった。

③ケーブルテレビ事業

受託料収益102,790,476円とケーブルテレビ事業収益42,300,722円と事業外収益25,324円の計145,116,522円の収益に対し、ケーブルテレビ事業費は131,445,424円で13,671,098円の利益となった。

平成30年度

一般財団法人杵築市総合振興センター			
財	務	諸	表

平成30年度 一般財団法人杵築市総合振興センター予算決算対照表

[収入]

(単位:円)

款	項	目	節	予算額	決算額	差引
1.事業収益				133,358,000	165,910,159	△ 32,552,159
1.事業収益	1.ふるさと便 事業収益	1.売上		4,500,000	5,025,000	△ 525,000
				4,500,000	5,025,000	△ 525,000
			1.売上	4,500,000	5,025,000	△ 525,000
	2.杵築ふるさと 産業館売上 手数料	1.売上手数料		4,440,000	4,168,015	271,985
				4,440,000	4,168,015	271,985
			1.売上手数料	4,440,000	4,168,015	271,985
	3.杵築ふるさと 産業館販 売収益	1.売上		12,600,000	5,927,946	6,672,054
			1.売上	12,600,000	5,927,946	6,672,054
	4.受託料	1.受託料		106,700,000	107,790,476	△ 1,090,476
				106,700,000	107,790,476	△ 1,090,476
			1.受託料 (ふるさ産業館) (ケーブル番組制作等)	5,000,000	5,000,000	0
			(ケーブル伝送路保守管理)	75,000,000	75,000,000	0
			(ケーブル受信点等定期点検)	20,000,000	21,072,876	△ 1,072,876
	5.家賃収入	1.家賃収入		672,000	672,000	0
			672,000	672,000	0	
1.家賃収入			672,000	672,000	0	
6.施設使用料	1.施設使用料		56,000	26,000	30,000	
		1.施設使用料	56,000	26,000	30,000	
7.ケーブルテレビ 事業収益	1.売上		4,390,000	42,300,722	△ 37,910,722	
			4,390,000	42,300,722	△ 37,910,722	
		1.売上	2,990,000	40,319,246	△ 37,329,246	
		2.広告収入	1,400,000	1,981,476	△ 581,476	
2.事業外収益			564,000	452,571	111,429	
1.受取利息	1.受取利息		4,000	730	3,270	
			4,000	730	3,270	
		1.受取利息	4,000	730	3,270	
2.雑収益	1.雑収益		60,000	70,824	△ 10,824	
			60,000	70,824	△ 10,824	
		1.雑収益	60,000	45,500	14,500	
	2.雑収益(ケーブル)	0	25,324	△ 25,324		
3.手数料	1.手数料		500,000	381,017	118,983	
			500,000	381,017	118,983	
		1.手数料	500,000	381,017	118,983	
収入合計				133,922,000	166,362,730	△ 32,440,730

[支出]

(単位:円)

款	項	目	節	予算額	決算額	差引	
1.事業原価				129,112,000	149,317,460	△ 20,205,460	
1.ふるさと便 事業費	1.ふるさと便 事業費	9.消耗品費		62,000	55,031	6,969	
		12.印刷製本費		21,000	19,148	1,852	
		15.通信運搬費		936,000	934,949	1,051	
		17.手数料		10,000	6,090	3,910	
		23.特産品購入費		3,580,000	3,579,403	597	
		27.公租公課費		60,000	31,800	28,200	
	2.杵築ふるさと 産業館事 業費	1.杵築ふるさと 産業館販 売経費	2.給料		6,666,000	6,441,970	224,030
			9.消耗品費		170,000	170,000	0
			10.燃料費		60,000	35,726	24,274
			13.光熱水費		1,560,000	1,537,972	22,028
	23.特産品購入費		9,347,000	4,557,847	4,789,153		
	27.公課費		550,000	502,100	47,900		

[支 出]

(単位:円)

款	項	目	節	予 算 額	決 算 額	差 引
	3. ケーブルテレビ 事業費			106,090,000	131,445,424	△ 25,355,424
		1. ケーブルテレビ 事業費	2. 給料	40,000,000	32,198,155	7,801,845
			6. 報償費	0	234,000	△ 234,000
			7. 旅費	600,000	230,810	369,190
			9. 消耗品費	250,000	1,891,369	△ 1,641,369
			10. 燃料費	190,000	253,195	△ 63,195
			11. 会議費	100,000	17,326	82,674
			12. 印刷製本費	1,600,000	1,499,256	100,744
			14. 修繕料	300,000	269,732	30,268
			15. 通信運搬費	300,000	840,553	△ 540,553
			16. 広告料	0	493,495	△ 493,495
			17. 手数料	1,800,000	330,696	1,469,304
			18. 保険料	160,000	274,340	△ 114,340
			19. 委託料	22,500,000	18,913,390	3,586,610
			20. 使用料及び賃借料	200,000	2,284,477	△ 2,084,477
			21. 工事請負費	23,000,000	50,128,613	△ 27,128,613
			24. 備品購入費	1,500,000	4,605,812	△ 3,105,812
			27. 公課費	2,700,000	6,575,370	△ 3,875,370
			29. 雑費	300,000	656,822	△ 356,822
			31. 福利厚生費	600,000	817,301	△ 217,301
			32. 法定福利費	5,740,000	5,012,270	727,730
			33. 番組制作費	500,000	3,247,942	△ 2,747,942
			34. 退職金積立金	1,250,000	564,480	685,520
			35. 予備費	2,500,000	0	2,500,000
			36. 減価償却費	0	106,020	△ 106,020
2. 管理費				4,809,000	3,876,377	932,623
	1. 一般管理費			4,238,000	3,416,270	821,730
		1. 経費	7. 旅費	30,000	0	30,000
			8. 交際費	100,000	44,500	55,500
			9. 消耗品費	450,000	443,461	6,539
			11. 会議費	15,000	9,040	5,960
			12. 印刷製本費	30,000	0	30,000
			14. 修繕料	200,000	101,960	98,040
			15. 通信運搬費	200,000	102,757	97,243
			16. 広告料	150,000	12,000	138,000
			17. 手数料	100,000	85,170	14,830
			18. 保険料	22,000	19,200	2,800
			19. 委託料	730,000	728,136	1,864
			20. 使用料及び賃借料	1,268,000	1,219,885	48,115
			21. 工事請負費	1,000	0	1,000
			24. 備品購入費	100,000	0	100,000
			25. 負担金補助及び交付金	72,000	72,000	0
			27. 公課費	190,000	24,232	165,768
			29. 雑費	280,000	270,365	9,635
			30. 減価償却費	300,000	283,564	16,436
	2. 福利厚生費			150,000	50,102	99,898
		1. 福利厚生費		150,000	50,102	99,898
			1. 福利厚生費	150,000	50,102	99,898
	3. 法定福利費			420,000	410,005	9,995
		1. 法定福利費		420,000	410,005	9,995
			1. 法定福利費	420,000	410,005	9,995
	4. 雑損失			1,000	0	1,000
		1. 雑損失		1,000	0	1,000
			1. 雑損失	1,000	0	1,000
3. 予備費				1,000	0	1,000
	1. 予備費			1,000	0	1,000
		1. 予備費		1,000	0	1,000
			1. 予備費	1,000	0	1,000
	支 出 合 計			133,922,000	153,193,837	△ 19,271,837

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① ふるさと便事業収益	5,025,000	4,070,000	955,000
② 手数料収益	4,549,032	5,513,949	△ 964,917
③ 受託料収益	107,790,476	119,488,139	△ 11,697,663
④ 杵築ふるさと産業館販売収益	5,927,946	7,142,626	△ 1,214,680
⑤ ケーブル売上	40,319,246	4,358,575	35,960,671
⑥ ケーブル広告収入	1,981,476	3,702,058	△ 1,720,582
経常収益合計	165,593,176	144,275,347	21,317,829
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当(産業館)	6,441,970	6,528,000	△ 86,030
仕入(産業館)	8,033,784	8,500,504	△ 466,720
消耗品費(産業館)	225,031	39,911	185,120
燃料費(産業館)	35,726	31,900	3,826
印刷製本費(産業館)	19,148	25,498	△ 6,350
水道光熱費(産業館)	1,537,972	1,442,641	95,331
通信運搬費(産業館)	934,949	706,903	228,046
手数料(産業館)	6,090	6,900	△ 810
公課費(産業館)消費税	533,900	505,900	28,000
給料手当(ケーブル)	32,198,155	33,559,771	△ 1,361,616
報償費(ケーブル)	234,000	126,000	108,000
旅費(ケーブル)	230,810	376,060	△ 145,250
消耗品費(ケーブル)	1,891,369	2,635,271	△ 743,902
燃料費(ケーブル)	253,195	177,245	75,950
会議費(ケーブル)	17,326	9,720	7,606
印刷製本費(ケーブル)	1,499,256	913,958	585,298
修繕費(ケーブル)	269,732	123,865	145,867
通信運搬費(ケーブル)	840,553	321,816	518,737
広告料(ケーブル)	493,495	136,080	357,415
手数料(ケーブル)	330,696	471,341	△ 140,645
保険料(ケーブル)	274,340	159,350	114,990
委託料(ケーブル)	18,913,390	33,023,356	△ 14,109,966
使用料及び賃借料(ケーブル)	2,284,477	1,900,297	384,180
備品購入費(ケーブル)	4,605,812	22,178,098	△ 17,572,286
工事請負費(ケーブル)	50,128,613	0	50,128,613
公課費(ケーブル)	6,575,370	4,096,100	2,479,270
雑費(ケーブル)	656,822	839,345	△ 182,523
福利厚生費(ケーブル)	817,301	1,173,671	△ 356,370
法定福利費(ケーブル)	5,012,270	5,066,827	△ 54,557
番組制作費(ケーブル)	3,247,942	0	3,247,942
退職金積立金(ケーブル)	564,480	0	564,480
減価償却費(ケーブル)	106,020	0	106,020
給料(地域商社)	0	3,070,400	△ 3,070,400
旅費(地域商社)	0	310,754	△ 310,754
消耗品費(地域商社)	0	1,526,718	△ 1,526,718
燃料費(地域商社)	0	18,092	△ 18,092
通信運搬費(地域商社)	0	63,015	△ 63,015
広告料(地域商社)	0	172,800	△ 172,800
手数料(地域商社)	0	600,034	△ 600,034
使用料及び賃借料(地域商社)	0	658,100	△ 658,100
公課費(地域商社)	0	676,050	△ 676,050
雑費(地域商社)	0	338,183	△ 338,183
法定福利(地域商社)	0	507,776	△ 507,776

科 目	当年度	前年度	増 減
②管理費			
法定福利費	410,005	321,719	88,286
福利厚生費	50,102	87,282	△ 37,180
通信運搬費	102,757	133,638	△ 30,881
接待交際費	44,500	76,950	△ 32,450
修繕費	101,960	821,497	△ 719,537
印刷製本費	0	1,500	△ 1,500
使用料	1,219,885	1,224,021	△ 4,136
会議費	9,040	10,675	△ 1,635
広告宣伝費	12,000	3,780	8,220
委託料	728,136	728,136	0
負担金	72,000	72,000	0
消耗品費	443,461	570,649	△ 127,188
租税公課	24,232	198,534	△ 174,302
保険料	19,200	45,680	△ 26,480
減価償却費	283,564	50,036	233,528
雑費	355,535	176,077	179,458
工事請負費		39,442	△ 39,442
経常費用計	153,090,371	137,579,866	15,510,505
当期経常増減額	12,502,805	6,695,481	5,807,324
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収益	768,824	764,634	4,190
受取利息	730	1,492	△ 762
経常外収益合計	769,554	766,126	3,428
(2) 経常外費用			
経常外費用合計			
当期経常外増減額	769,554	766,126	3,428
当期一般正味財産増減額	13,272,359	7,461,607	5,810,752
一般正味財産期首残高	13,062,635	5,601,028	7,461,607
一般正味財産期末残高	26,334,994	13,062,635	13,272,359
II 指定正味財産増減の部			
当期一般正味財産増減額			
一般正味財産期首残高			
一般正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	26,334,994	13,062,635	13,272,359

財 産 目 録

平成31年3月31日現在

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	736,309	
普通預金 大分銀行杵築支店 No.143275	2,575,487	
大分県農協杵築支店 No.9514201	1,875,113	
大分県農協杵築支店 No.2518	1,957,395	
大分銀行杵築支店 No.7531284	6,524,607	
大分県農協杵築支店	120,072	
郵便局 No.19600201676	0	
定期預金 大分県農協杵築支店 No.568988	5,000,000	
定期預金 大分県農協杵築支店 No.09117860	1,000,000	
定期預金 大分銀行 No.6011932	1,660,000	
売掛金	31,903,904	
棚卸資産	420,044	
前払費用	21,600	
未収金	14,106,263	
流動資産合計		67,900,794
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
(2) 特定財産		
(3) その他の固定資産		
有形固定資産合計	6,857,919	
その他の資産(保証金)	220,000	
固定資産合計		7,077,919
資産合計		74,978,713
II 負債の部		
1. 流動負債		
買掛金	145,365	
未払金	38,376,135	
未払消費税	2,093,600	
前受金	25,000	
預り金	3,003,619	
流動負債合計		43,643,719
2. 固定負債		
固定負債合計		
負債合計		43,643,719
正味財産		31,334,994

貸借対照表

平成31年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	21,448,983	14,362,261	7,086,722
売掛金	31,903,904	2,509,988	29,393,916
商品(棚卸資産)	420,044	316,578	103,466
前払費用	21,600	21,600	0
未収金	14,106,263	46,494,502	△ 32,388,239
流動資産合計	67,900,794	63,704,929	4,195,865
2. 固定資産			
(1)基本財産			
(2)特定財産			
(3)その他の固定資産			
車両運搬具	695,080	695,080	0
備 品	7,451,784	1,090,584	6,361,200
減価償却累計額	△ 1,288,945	△ 899,361	△ 389,584
有形固定資産	6,857,919	886,303	5,971,616
その他の資産(保証金)	220,000	220,000	0
固定資産合計	7,077,919	1,106,303	5,971,616
資産合計	74,978,713	64,811,232	10,167,481
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	145,365	459,786	△ 314,421
未払金	38,376,135	39,999,280	△ 1,623,145
未払消費税	2,093,600	3,074,800	△ 981,200
前受金	25,000	7,000	18,000
預り金	3,003,619	3,207,731	△ 204,112
流動負債合計	43,643,719	46,748,597	△ 3,104,878
負債合計	43,643,719	46,748,597	△ 3,104,878
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本財産			
指定正味財産合計			
2. 一般正味財産	31,334,994	18,062,635	13,272,359
正味財産合計	31,334,994	18,062,635	13,272,359
負債及び正味財産合計	74,978,713	64,811,232	10,167,481

基本金明細書表

(単位:円)

区 分	出捐団体	出 捐 額	摘要
基本金	杵築市他	5,000,000	
計		5,000,000	

有形固定資産明細表

(単位:円)

資産種類	取得原価 A	当期増加額 B	当期減少額 C	期末残高 (A+B-C) D	当期減価 償却額 E	減価償却 累計額 F	差引期末 残高 D-F	摘要
車両運搬具	695,080	0	0	695,080	0	660,326	34,754	
備品	189,000	0	0	189,000	0	188,999	1	コインロッカー
備品	901,584	0	0	901,584	283,564	333,600	567,984	エアコン2台(別館用)
備品	691,200	0	0	691,200	11,520	11,520	679,680	カメラ・マイク
備品	1,771,200	0	0	1,771,200	29,520	29,520	1,741,680	カメラ
備品	2,592,000	0	0	2,592,000	43,200	43,200	2,548,800	防犯カメラ2台
備品	1,306,800	0	0	1,306,800	21,780	21,780	1,285,020	ODAデータバックアップシステム
	8,146,864	0	0	8,146,864	389,584	1,288,945	6,857,919	

平成31年度事業計画並びに予算書

自 平成31年 4月 1日

至 平成32年 3月 31日

公益社団法人杵築市地域活性化センター

- ・ 公益目的事業会計
- ・ 収益目的事業会計
- ・ 法人会計

平成31年度事業計画書

・基本方針

杵築市の農業は、高齢農家及び兼業農家により支えられた農業であるが、今後この従事者の高齢化に伴い離農や規模縮小が予測される中、担い手不足が深刻化している。

地域住民は、地域農業の維持管理や農業経営及び将来的な発展、継続を憂慮し、また、地域全体の活性化や集落自体の限界化に不安を抱えており、支援は喫緊の課題である。

こうしたなか、これまで限られた中核農家は、農地所有者の土地保有の志向性の強さにより、農地集積が顕著に進展しないまま推移し、更に一時的投資及び労働者不足等で育ち難い状況にあった。

この様な厳しい状況下で、農家の創意と工夫による経営改善の誘導をするものの、個人的な改善のみでは自ずと限界があった。

このため、この法人は、公益法人として不特定多数の者の利益の増進に寄与することを基本とし、長期展望に立った農地の流動化を推進するとともに、高性能機械や施設に対する投資の軽減、農作業の受委託等の支援、農業の分業化及び都市と農村との交流を実践し、もって効率的かつ生産性の高い農業及び地域活性化の実現を図ることを目的とする。そして杵築市農業の中核となる機関となり、魅力・やりがいのある農業を目指し、支援・振興を図ることとする。

その方策として、農地利用集積円滑化事業並びに、農地保全管理事業並びに、高次元農業推進事業並びに、担い手育成支援事業で構成する公益目的事業を実施する。

また、地域の景観並びに自然・生活環境を保全のため、過疎地域の集落等に対する生活道路維持管理、地域美化活動等の住民サービスマ等々の取り組みを、収益事業と位置づけ実施する。

実施する多岐にわたる事業は、その受益の大半が、小規模集落等の山間地の狭隘農地、分散農地など条件不利地域であり、作業効率等が極めて悪い。しかし、この法人は、農業福祉的役割を担いながら、地域農業の振興と過疎地域の支援を図ることにより、国土の保全及び自然・生活環境の保全、災害の防止等につながる。ひいては地域全体にその影響が及ぶ重要な役割を担っていると考え、使命として積極的に活動する。

1. 公益目的事業

【1】農地利用集積円滑化事業

近年、農業従事者の高齢化、後継者不足の進行により、後継者に継承されない又は担い手に集積されない農地で遊休化したものが増加傾向にあることから、これを放置すれば担い手に対する利用集積が遅れるばかりでなく、農業生産力の著しい減退を招き、周辺農地の耕作にも大きな支障を及ぼすおそれがある。今後、加速的に進む離農により、農地所有者から農地の貸付等の動向が強まることが予想される。

このような状況の中、農地利用集積円滑化団体として、農地の面的な集積と遊休農地等の解消を目的に、農業生産展開の基礎となる優良農地を確保し、農村地域の秩序ある土地利用に努めるものとする。

担い手が、将来にわたって地域の農地を有効活用し、地域農業を維持・発展させるためには、認定農業者や農業生産法人等の地域農業の担い手となる中核的農家等へ、農地の面的な集積を図り、農作業の効率化等を図ることによって農地の引受能力を高め、さらなる経営規模の拡大または経営の健全化へと支援・誘導するとともに、遊休農地の解消・抑制を図る。また、農地の形状や地理的な条件等の理由により担い手に利用権設定が困難な農地等においては、一部をこの法人自らが借り受け保全管理・調査を行う。

このように、地域農業の基盤であり資源・財産でもある農地において、荒廃化の抑制及び有効利用を図ること、食糧の安定供給や自給率の向上、水田等の保水機能による洪水等の災害の防止、病虫害等の発生の防止が図れ、食糧の増産、国土の保全及び自然・生活環境の保全に寄与する公益目的事業として実施する。

【2】農地保全管理事業

地域の基幹的な産業ともいえる農業において、地域性により集落・営農組織等の生産法人化や規模拡大を図り、地域農業体系の整備が進む地域がある反面、中山間の狭隘農地で構成される、いわゆる条件不利地といえる集落等では、多くの経営農地は分散し、農地の集積化・保全も困難であり、離農を余儀なくされる地域もあるなど格差が生じている。また、その従事者においても高齢化や兼業化により、労力の減少が進み、農業の発展、継続性が憂慮されている。

このため高齢農家や零細農家並びに小規模の兼業農家等にとっては、農作業は大きな負担となっている。

こうした状況の中、中核農家及び営農組織等の育成・支援となる担い手対策等により、農家の労力を補完するとともに、農業機械等への過剰投資を抑制し、地域主幹品目の維持・拡大を図り、もって農業所得の向上と生活の安定に資することを目的とし、農作業の受委託、担い手の育成、保全管理・調査等を実施し、地域農業を振興し農地の保全を図る。

農作業受委託に関しては、農作業が負担となっている農家に対し、労力の確保として農作業を受託し、受託組織または担い手に再委託を行う仲介機能を発揮するとともに、自らも再委託できない部分の受け皿的役割を担い、実質的な担い手として農家支援に携わる。また、中核農家または営農組織等からの農作業の分業化についても対応し、他営農組織等担い手への再委託も含め、連携強化を図る。

担い手育成に関しては、地域オペレーター及び営農組織に加入する人材を登録制とする受託組織の整備、新規就農相談により人材の発掘を図る。そして、養成の場として一定期間の臨時雇用、また、営農組織及び先進農家には研修受入の協力を仰ぎ、農作業体験を通しての実地訓練と農業機械技術者指導による実務研修を図り人材育成に努める。

保全管理・調査に関しては、農地利用集積円滑化事業を活用して借り受けた農地を利用し、新規振興作物等の試験栽培を実施し、将来的に農家の所得向上を目指す。

また、同農地を活用した児童・生徒による農産物生産を行い、農業体験を通じた食育・情操教育に繋げる活動も展開したいと考える。

このように、農業生産力の補完に対し、その労力の提供及び後継者並びに担い手等の育成に係る支援をすることで、食糧の安定供給や自給率の向上、水田等の保水機能による洪水等の災害の防止、病害虫等の発生の防止が図れ、食糧の増産、国土の保全及び自然・生活環境の保全に寄与する公益目的事業として実施する。

【3】高次元農業推進に関する育苗センター事業

農地保全管理事業における農作業受委託の一環である育苗作業では、個々の農家で対応が難しい適期に且つ均一化された苗を、生産し供給することにより、品種及び規格の統一、計画的な生産出荷を実現する。また、作業の分業化による省力化により担い手の規模拡大を支援し、集約的農業においては、高収益作物へ

の誘導による、地域特産物の振興を図り、もって農業所得の向上を目的とする。

育苗作業では、農家自らが行う場合、作物によってはその生産工程が、苗の仕立てから生産物の出荷までに一年近くを要するものもあり、労力や時間、施設の制限等を考慮すると有益とはいえない。そのため、苗生産作業を分業化し、委託することと、余剰労力を農業分野や他産業で有効に活用できるようにする。

本事業で生産する品目は多岐にわたり、水稲苗をはじめ大分県の振興作物(花卉類)苗及び野菜苗を、適期に均一化された健苗生産に取り組み、杵築広域を中心としたJ Aや各関係機関への供給を行う。花壇用苗生産では、学校等の公共機関や老人会での美化活動を目的とし供給する傍ら、農家以外の多数の方にも利用して頂けるようふれあい市場等に供給を行い、この法人の活動を広げ、さらなる需要の拡大に努めている。

また、花卉類での優良系統の選抜を県農業研究部花きグループと連携し調査・研究するなど、各関係機関と協力・連携し、低コスト、高収益等に向けた試験・研究を実施する。

このように作業の分業化を実現し、需要に応じた多品目苗の生産・供給に努め、高収益作物の導入にかかわる研究の支援を実施することにより、農家の所得向上や規模拡大を図ると同時に、地域特産物の振興、食糧の増産及び地域美化に寄与する公益目的事業として実施する。

【4】担い手育成支援事業に関する事業

地域の基幹的産業である農業の後継者育成を目的とし、農地利用集積円滑化事業を利用し農地を借り受け、た就農希望者及び規模拡大志向農家に対し、就農及び規模拡大後の営農が円滑に進むよう、技術または経営方法を実地に習得させるための研修等事業及び条件・環境面の整備を支援し、中核農家への育成及び特産物の振興を図る。

このように、勤労意欲のある者への就労の支援だけでなく、地域社会の健全な発展にも寄与する公益目的事業として実施する。

【5】山香グリーンエコランド

山香グリーンエコランドの管理運営に関しては、杵築市農業における主体のひとつである畜産業から排出される家畜糞尿を受入れ廃棄物処理を行い、畜産に起因する河川汚濁や臭気、害虫の発生等を防止し、自然環境を保全する。

また、適切に処理する上で生成される良質堆肥を農地に還元することにより、杵築市の推進する「有機の郷」作りを目指した循環型農業を実現し、減農薬・減化学肥料の安全・安心な農産物の生産振興を図るための重要な役割を担っていく。

しかし、今後の経営の見通しは、堆肥処理に係るコスト上昇等で厳しい状況にある。こうしたなか農業所得が減少傾向にある畜産・耕種農家の経営支援を目的に、特にバラ堆肥では原価を下回る価格帯を設け利用促進を図り、市からの指定管理料をもって、収支バランスを取り管理運営を行っていく。

① 原料搬入及び堆肥化処理過程

搬入された家畜糞尿は、水分調整後、一次発酵舎で1ヶ月間攪拌し好気性発酵処理を行い温度を上げ、2次発酵舎に移し2ヶ月間発酵状態を維持し、状態により4回から7回の切り返しを行い処理を進める。

その後、養生舎に移し適時切り返しを行いながら、3ヶ月程度熟成し、概ね6ヶ月間を経て、家畜糞尿は臭気や水分等汚物感の無い完熟堆肥の状態まで処理される。

家畜糞尿の搬入に関しては、開設当初の計画に比べ牛糞の搬入量が減少する見込みであり、本年度も杵築市畜産環境保全推進協議会の指導のもと、畜産農家の家畜糞尿処理状況を把握し、処理状況に問題のある畜産農家がある場合には、助言を行い施設の利用を促していく。

② 堆肥供給

堆肥供給に関しては、適切に処理するうえで生成される良質堆肥を耕種農家を中心に供給する。

堆肥の利用には、散布作業等多大な労力がかかるが、中核農家や営農組織においても、大型車両や堆肥散布機械を保有しているものが少ないことを考慮し、農地保全管理事業の一部として、堆肥の運搬及び散布作業の作業受託を行い、農家の農業機械等への投資を抑制するとともに、農家の労力を軽減する。

また、野菜・花卉等の狭い圃場やハウスへの堆肥散布作業を推進するほか、堆肥と農家が使用する各種土づくり資材等の混合作業に取り組み、農家の労力補完体制を強化する。

堆肥の利用にあたっては、実験圃場で得られた試験結果や利用方法、堆肥成分、使用効果等の情報提供を行い、適切に堆肥の利用が図られるよう努める。

このように、産業廃棄物である家畜糞尿を適切に処理するとともに、副次的に生成される堆肥を農地に還元することで、循環型農業を実現し、河川汚濁や臭気、害虫等の発生を防止し、豊かな土壌の形成による食糧の増産、国土の保全及び自然・生活環境の保全に寄与する公益目的事業として実施する。

【6】 杵築リース農園事業

農地利用集積円滑化事業（旧農地保有合理化事業）における農地売買等事業（農地貸借分）を利用し、リース農園の施設リース料及び土地賃貸料等の徴収・支払事務と施設管理を行う。

2. 収益目的事業

【7】公共施設管理に関する事業

杵築市の景観・環境保全を目的とし、市道等の維持管理、各種公共・社会体育施設等の管理、公園等の環境保全、美化作業の受託を行い親しまれる地域づくりを目指す。また、地域住民の多種多様なニーズに対応し害虫駆除等に取り組み、住民が安心して暮らせる住みよい町づくりに努めていく。

本事業においては、本来の役割として公益目的事業と位置づける農業振興だけでは、経営収支バランスの保持が困難であり、経営の安定のためには必要不可欠な部門となっている。また、この事業を実施することにより認知度・存在意識を高め、公益目的事業の需要拡大につなげるよう努める。

1. 公益目的事業（内訳）

一 農地利用集積円滑化事業

農業生産の基盤となる優良農地を確保・有効活用のため、効率的かつ安定的な農業経営を営むものに対する農地の利用と集積の円滑化を図り、農村地域の秩序ある土地利用に努める。

2年目となる地域農業経営サポート機構育成事業では、センターを核とし地域経営体の組織連携化を促進する。連携員となる中核農家及び営農組織等の育成・支援を図りつつ、担い手不在地域及び農地相談の大半を占める条件不利地域等では、連携員を中心とした農地の集積を目指し、農地の荒廃化抑制等に努める。また、地域農業の合意形成が図れる限られた地域では、中間管理機構への集積に協力し、面的な農地利用の再編成に努めていく。

取り扱う事業別では、農地所有者代理事業は、本年末が農地の利用期間満了となる22案件は借り手が高齢の方もあるため、今後の意向等を年度当初より情報収集し、次期契約に向け取り組む。

農地貸借事業計画（利用権設定面積）	合計33件	12.1ha
①農地所有者代理事業	計26件	8.62ha
	4件	2.00ha
	22件	6.62ha
②農地売買等事業	計7件	3.48ha
	7件	3.48ha

新規（山香1.00ha、杵築1.00ha）相談対応：中間管理機構へ

更新 相談対応：中間管理機構へ

片野・八坂リース団地相談対応：中間管理機構へ

一 農地保全管理事業（農作業受託業務）

農作業受託業務は、米価低迷・高齢化・高齡化・害獣被害等による離農が進むなか水稻基幹作業を中心に、作付面積の減少により作業受託量が減少傾向にある。このため前年度実績の受託量を維持すべく積極的に転作田作業や新規作業確保に努めていく。

地域農業経営サポート機構育成事業では、新採用職員の育成に力を入れたとともに、例年通り大型特殊等の資格取得に対する補助を行う他、畦畔管理の省力化に向け連携員より要望のあるセンチピートグラスについて栽培試験を実施する。また、連携員間での作業受委託を進めるため、連携員の状況把握に努めていく。

籾米サイレージ(SGS)については、前年度製造したSGSの給与試験の状況を通し、品質や問題点について関係機関と検討を重ね、継続し連携を図っていく。

一 農作業受委託支援計画(面積基準)一

種別	前年度実績 見込み(ha)	受託等計画												備考			
		面積(ha)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月		
水稲準備作業	15.72	14.10			→												荒田耕起、荒水取り、植代掻き
畦塗り	15481m	17000m	→														
田植え	17.11	18.20			→												除草散布4.5ha、肥料散布5ha
水稲収穫	29.76	34.40							→								予約20ha、通常10.4ha、湿田等4ha
農薬散布(麦含む)	303.14	330.00	→				→										①77.0ha、②248.0ha、麦5.0ha
転作田等除草	0.42	4.10					→										70-4E7、ハイマイト、刈払機(380h)
その他農作業支援	0.90	4.70					→										転作田耕起、P.D.深耕ロータリ-溝掘
土壌改良材散布	19.55	30.00															ミネラル300袋
堆肥散布	28.00	28.33															配達散布760袋、粉運搬受託200㎡
森林組合委託業務	5件	3件															除伐、植林、ネット張り等
林道豊後高田大田線外除草	30000㎡	30000㎡									→						豊後高田山香線外
竹林再生事業	0件	10件															

※農作業受委託合計(面積要件のみ) 463.8ha(前実見込比111.9%)

種 別	前年度実績 見込み(本・枚)	受託等計画												備 考			
		単位(本・枚)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月		
花 苗 (ふれあい他)	22,000	17,400															公共機関より注文有
薬 用 作 物 栽 培																	受託作業

※水稲53,000枚(前実見込比104.0%)、野菜計1,151,160本(前実見込比110.2%)、花き・花壇苗計1,399,900本(前実見込比100.5%)

一 山香グリーンエコランド事業 一

家畜排泄物処理計画においては、搬入量は全体的に前年並みの搬入量が予想される。処理過程においては、堆肥発酵に適した水分にするため、一次発酵舎のブロー吹き出し口の清掃、モミガラ等の安価な副資材の入手先を複数確保し、戻し堆肥の利用減など、生産コストをおさえ年間を通して堆肥化行程を円滑に進行させる。また、堆肥の供給量増加、堆肥利用者の満足度向上、農産物の品質向上等を目的とし、市の協力を仰ぎ新たな製品の研究開発を進める。堆肥供給においては、杵築地区等での利用が増加傾向にあるハウスの施設での機械散布を推進、小袋ではOEM供給が取引先の事情により減少傾向にあり、茶園での利用増により例年並みの供給量を見込むが、県外等にまで視野を広げ、積極的に推進を行い、良質堆肥による供給先の拡大を図る。

一 種類別生産計画 一

種 別	家畜排せつ物処理計画		生 産 量(D)	種 別	堆肥供給計画
	乳 用 牛 糞	家畜排せつ物処理計画			
乳 用 牛 糞	4,000 t	リユースべ換算量	4,384 m ³	バラ堆肥自己取り	900 m ³
繁 殖 牛 糞	0 t	6,800 m ³	(D)=A'×製品化率6.2%	バラ堆肥配達	600 m ³
肥 育 牛 糞	700 t	(B)	戻し堆肥減損量(E)	バラ堆肥配達散布	1,000 m ³
豚 ぶ ん	0 t	副資材使用量	-128 m ³	合 計	2,500 m ³
採 卵 鶏 糞	0 t	1,000 m ³	完成品量(F)	小袋堆肥自己取り	13,000袋
ブ ロ イ ラ ー 糞	400 t	(C)		小袋堆肥配達	30,900袋
合 計	5,100 t	7,800 m ³	4,256 m ³	合 計	43,900袋
	(A)	(A')=B+C	(F)=D-E	総 合 計	4,256 m ³

－ 山香グリーンエコランド事業計画（数量基準）－

種別	前年度実績 見込み	受託等計画												備考				
		数量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月			
処																		
理																		
バ																		
ラ																		
小																		
袋																		

※搬入処理量5,100t(前実績比95.7%)、供給：ハネ72,500㎡(前実績比110.0%)、小袋40,900袋(前実績比112.3%)

－ 担い手育成支援事業 －

杵築市リース農園は、八坂団地・片野いちご団地が本年度末に施設の貸借期間が満了のため、施設所有者の大分県農業協同組合、片野いちご生産組合の代理となり継続契約の事務にあたる。

一 杵築リース農園事業

I リース農園事業

1. 施設園芸農家支援対策事業(リース農園事業 施設貸付 5団地 64棟)

団地名	参加者	施設棟数	貸付年月日	経過年数
ア. 奈多団地	新藤 厚昌、外計 5名	11棟	JAおおいたより参入者に譲渡	—
イ. 守江上団地	藤永 武彦、外計 9名	14棟	JAおおいたより参入者に譲渡	—
ウ. 守江下団地	岩崎 宏幸、外計 10名	17棟	JAおおいたより参入者に譲渡	—
エ. 北杵築(鴨川)団地	三浦 義伸、外計 4名	13(5,8)棟	JAおおいたより参入者に譲渡	—
オ. 八坂団地	宮原宣太郎、外計 6名	9棟	平成12年4月1日から20年間	20年

2. 施設リース農園事業(生産組合所有分 3団地 施設貸付 22棟)

団地名	参加者	施設棟数	備考	経過年数
ア. 溝井花き団地	渡邊 忠昭、外計 4名	10棟	請求書作成等事務処理のみ	(再) 4年
イ. 片野いちご団地	佐藤 進一、外計 4名	5棟	請求書作成等事務処理のみ	20年
ウ. 原北団地	上杉 喜数、外計 4名	7棟	請求書作成等事務処理のみ	19年

※施設リースに係る農地貸借は農地利用集積円滑化事業 農地売買等事業にて予算措置済み。

II 農地利用集積円滑化事業

(農地売買等事業：農地貸借分)

1. 施設関係 (6団地) 借地 12.36ha：地権者22名 → 貸付 参入者33名

団地名	地権者	参加者	借付年月日	期間	面積	経過
ア. 北杵築(鴨川)団地	竹繁一哉	三浦義伸、外	平成31年3月31日にて終了	—	0.07ha	—
イ. 八坂団地	上 宣子、外	宮原宣太郎、外	平成12年4月1日～平成32年3月31日	20年	2.35ha	20年
ウ. 片野いちご団地	阿部重馬、外	佐藤進一、外	平成12年4月1日～平成32年3月31日	20年	1.13ha	20年
エ. 奈多団地	矢野喜多治、外	新藤厚昌、外	平成28年4月1日～平成38年3月31日(※多：一部平成33年3月31日迄5年間)	再：10年	2.22ha	(再)4年
オ. 守江下団地	大橋正幸、外	藤永武彦、外	平成28年4月1日～平成38年3月31日	再：10年	4.91ha	(再)4年
カ. 溝井花き団地	田中正紀、外	渡邊忠昭、外	平成28年4月1日～平成48年3月31日	再：20年	1.68ha	(再)4年

2. 茶団地関係(1団地) 借地 2.00ha：地権者28名 → 公社中間保有(杵築茶生産組合へ)

合計借入面積 14.36ha：借入件数50件 貸付件数33件

2. 収益目的事業（内訳）

収益事業の公共施設関連連管理作業は、環境保全美化を主体とした例年受託する市道日出大田線ほか、山香地区の主要幹線の除草・維持管理、社会体育施設及び公園施設の管理について積極的な受託に努める。また、害虫駆除による災害忌避に務めるなど多岐にわたる事業に取り組む。

今後、一般住民からの多種多様なニーズに対応できる体制作りに努め、杵築市における認知度や公社の存在意義を高めていくとともに、不採算である公益目的事業部門を補えるように事業展開を図っていく。

一 公共施設管理に係る受託作業の実施計画 一

種 別	前年度実績 見込(千円)	受託等計画												備 考					
		金額(千円)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月				
市道日出大田線外除草	6,264	6,264								→							72,870㎡(山香20路線)		
甲尾山公園外管理	6,129	6,129															除草147,850㎡(4カ所)、防除、刈り揃い、外		
社会体育施設管理	1,566	1,566		→		→			→								17,510㎡(3カ所)、剪定		
市有財産管理	3,078	3,078	→			→			→								57,880㎡(8カ所)		
市道維持管理補修	2,074	2,074															→	道路維持、側溝清掃等	
その他市請負	4,438	3,413																→	支障木処理等
その他請負	1,322	3,681																→	雄鷹除70件、外

※請負金額合計26,205,000円(前実見込比105.4%)

収 支 (損 益) 予 算 書

(平成31年4月1日～平成32年3月31日)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：千円)

科 目	予算額(A)	前年度予算 額(B)	増減(A)-(B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	3	3	0	法人：基本財産30,000千円定期利息
基本財産運用益計	3	3	0	
特定資産運用益				
特定資産受取利息	2	2	0	公益：寄付金26,100千円定期利息
特定資産運用益計	2	2	0	
受取会費				
正会員受取会費	5,000	5,000	0	市300、JA(山120、杵80)
正会員特別受取会費	3,000	3,000	0	運営費1,000、人件費2,000
受取会費計	8,000	8,000	0	100.0%
事業収益				
農地賃借収益	5,479	5,587	-108	売買等事業分 山香3戸、杵築33戸
農地手数料収益	620	820	-200	杵築リース農園事務手数料
農地利用雑収益	6	6	0	
農地利用集積円滑化事業収益計	6,105	6,413	-308	95.2%
耕起作業収益	391	390	1	5.2ha 前実 4.4ha
畦塗り収益	1,054	1,054	0	17.0km 前実 15.5km
荒水代掻収益	552	497	55	4.2ha 前実 4.2ha
田植え作業受託収益	1,246	1,246	0	18.2ha 前実 17.1ha
水稻収穫作業受託収益	5,821	5,821	0	34.4ha 前実 30.8ha
農作業人夫使用料		505	-505	粗米「イレブ」試験作業減少
薬剤散布収益	11,723	12,695	-972	325.0ha 前実 291.2ha
その他農地保全管理収益	11,047	11,335	-288	森林組合委託業務減少
農地保全管理事業収益計	31,834	33,543	-1,709	94.9%
水稻苗生産収益	30,985	30,365	620	55,000箱 前実 50,979箱
野菜苗生産収益	7,643	8,045	-402	白ネー減
花卉苗生産収益	17,347	20,552	-3,205	鉢植え、小菊、輪菊増、マツ、ふれあい減
育苗雑収益	32	32	0	育苗雑収入
高次元農業推進事業収益計	56,007	58,994	-2,987	94.9%
堆肥供給収益	20,612	20,096	516	茶バラ供給増、小袋OEM供給減
受託収益	3,633	3,983	-350	散布受託減、バラ・小袋配達減
家畜糞尿処理請負収益	2,865	3,080	-215	各畜種微減
山香グリーンフロント事業収益計	27,110	27,159	-49	99.8%
基盤償還徴収金収益	769	769	0	溝井H27、奈多、守江下H28終了
緊畑償還徴収金収益				守江上H29、守江下H28終了
施設徴収保険料収益	180	280	-100	鴨川H30守江上H29奈多守江下H28終了
施設徴収更新費収益	499	764	-265	鴨川H30守江上H29奈多守江下H28終了
施設徴収償還金収益	2,837	4,810	-1,973	鴨川H30守江上H29奈多守江下H28終了
杵築リース農園事業収益計	4,285	6,623	-2,338	64.7%
公共施設等管理作業収益	25,755	23,469	2,286	日出大田線外、市請負等増
収益事業収益計	25,755	23,469	2,286	109.7%
事業収益計	151,096	156,201	-5,105	96.7%
受取補助金等				
受取地方公共団体補助金	6,000	8,000	-2,000	地域農業経営者一機構3年目
振替：受取地方公共団体補助金	4,518	5,359	-841	指定正味財産からの振替額
受取地方公共団体助成金	600	600	0	農地利用集積円滑化事業活動助成金
受取補助金等計	11,118	13,959	-2,841	79.6%
受取利息	6	6	0	預金受取利息
その他雑収益	5,742	5,918	-176	高：薬用作物栽培、コ：指定管理料、外
雑収益計	5,748	5,924	-176	97.0%

収 支 (損 益) 予 算 書

(平成31年4月1日～平成32年3月31日)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：千円)

経常収益計	175,967	184,089	-8,122	95.6%
(2) 経常費用				
事業費				(公益目的事業、収益目的事業)
(集積) 農地賃借費	5,479	5,587	-108	
(集積) 事業雑費	6	6	0	
農地集積円滑化事業費計	5,485	5,593	-108	98.1%
(保全) 農作業再委託費		200	-200	特→機構連携員へ1746散布配分減
(保全) 諸材料費	3,382	3,974	-592	田植え除草剤、刈農業
(保全) 機械賃借費	408	408	0	刈防除：車両レンタル
(保全) その他作業委託費	3,849	4,070	-221	特→ト機構減
(保全) 保全管理調査・整備費				
農地保全管理事業費計	7,639	8,652	-1,013	88.3%
(高次) 種苗費	6,271	6,244	27	水稲増
(高次) 肥料費	280	327	-47	輪菊外減
(高次) 農薬費	971	1,108	-137	輪菊外減
(高次) 諸材料費	5,697	5,896	-199	培土、フロッグ外減
(高次) 出荷経費	245	487	-242	ふれあい減(縮小)
(高次) 試験研究費	50	30	20	試験栽培費用
(高次) 事業雑費	74	74	0	水稲苗箱洗浄作業委託
高次元農業推進事業費計	13,588	14,166	-578	95.9%
(eco) 原材料	396	389	7	副資材(刈草)
(eco) 諸材料費	1,272	1,561	-289	小袋用袋
(eco) 燃料費	743	717	26	堆肥化処理燃料：バ(特)→バ(外)
(eco) 動力光熱費	2,760	2,760	0	電気料金
(eco) 作業委託費	220	231	-11	フレコン詰め、配達
(eco) 堆肥化経費	36	36	0	脱臭剤：希硫酸
(eco) eco推進活動費	71	51	20	処理料金減額(水分調整協力)、外
(eco) 堆肥化雑費	331	619	-288	堆肥成分分析、外
山香グリーンエコラント事業費計	5,829	6,364	-535	91.6%
(リース) 基盤受託金	769	769	0	溝井H27、奈多、守江下H28終了
(リース) 施設受託金	3,516	5,854	-2,338	鴨川H30守江上H29奈多守江下H28終了
杵築リース農園受託事業費計	4,285	6,623	-2,338	64.7%
(公共) 請負委託仕入	499	594	-95	芝肥料、殺虫剤、外
公共施設等管理事業費計	499	594	-95	84.0%
事業原価計	37,325	41,992	-4,667	88.9%
(事) 給料手当	71,511	77,905	-6,394	算出基礎：従事 合計33人体制2名減
(事) 退職給付費用	2,055	2,193	-138	正職員7名
(事) 法定福利費	9,522	9,999	-477	嘱託、臨時増加
(事) 福利厚生費	2,496	2,560	-64	
人件費計	85,584	92,657	-7,073	92.4%
(事) 会議費	69	79	-10	
(事) 消耗品費	3,508	3,834	-326	
(事) 宣伝広告費	304	289	15	
(事) 通信運搬費	678	661	17	各事業：切手、電話料金
(事) 印刷製本費		42	-42	(封筒→消耗品)
(事) 図書研修費	1,534	655	879	刈資格、特→ト研修
(事) 事務委託費	92	100	-8	各事業振替手数料、外
(事) 租税公課	8,951	7,916	1,035	軽油税、印紙税、消費税
(事) 会費分担金	5	27	-22	各事業協議会等会費
(事) 保守修繕費	7,603	6,358	1,245	刈、トクク、エ修繕等
(事) 保険料	2,204	2,415	-211	刈動産、自動車、賠償、傷害
(事) 水道光熱費	2,234	2,253	-19	各事業：電気、水道
(事) 賃借料	981	883	98	保全、高次：車輛、公共：機械
(事) 消耗什器備品費	700	400	300	保全、公共：刈払機、PCWin10
(事) 車輛費	3,484	2,600	884	各事業：車検・整備、リ付外

収 支 (損 益) 予 算 書

(平成31年4月1日～平成32年3月31日)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：千円)

(事)施設管理費	531	516	15	高次・コ：電気保安、警備保障
(事)燃料費	4,713	4,597	116	各事業燃料費
(事)減価償却費	7,717	9,029	-1,312	各事業農業用機械等
(事)旅費交通費	50	50	0	旅費
(事)雑費	392	396	-4	高次：水源がM使用料、外
その他事業経費計	45,750	43,100	2,650	106.1%
事業費合計	168,659	177,749	-9,090	94.9%
管理費				(法人会計)
(管)給料手当	2,324	1,966	358	算出基礎：従事 合計33人体制
(管)法定福利費	274	241	33	
(管)福利厚生費	298	289	9	
人件費計	2,896	2,496	400	116.0%
(管)会議費	30	30	0	理事会・総会費用
(管)消耗品費	178	171	7	事務消耗品
(管)宣伝広告費				
(管)通信運搬費	96	94	2	切手、電話料金
(管)図書研修費	60	60	0	図書、公社研修費、外
(管)事務委託費	1,182	707	475	税理士、社労士顧問料、登記関係、外
(管)租税公課	6	15	-9	収入印紙、外
(管)会費分担金	66	65	1	農業公社協議会、安全運転管理
(管)保守修繕費	211	52	159	複合機、会計ソフト保守、プリンタ強化
(管)保険料	59	98	-39	傷害保険、自動車保険
(管)水道光熱費	94	95	-1	事務所：水道、ガス、電気
(管)賃借料	482	479	3	会計システムソフト
(管)消耗什器備品費	449	50	399	パソコン、周辺機器
(管)車輛費	50	120	-70	整備費
(管)施設管理費	467	462	5	警備保障、ゴミ収集、外
(管)燃料費	97	84	13	自動車
(管)旅費交通費	114	114	0	役員費用弁償
(管)支払利息	15	15	0	短期借入金利息
(管)交際費	120	120	0	
(管)雑費	30	30	0	
その他管理費計	3,806	2,861	945	133.0%
管理費合計	6,702	5,357	1,345	125.1%
経常費用計	175,361	183,106	-7,745	95.8%
評価損益等調整前当期経常増減額	606	983	-377	61.6%
当期経常増減額	606	983	-377	61.6%
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
過年度修正(退職給付費用)				旧法人分H28度終了
その他の経常外費用計				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
他会計振替額	0	0	0	収益事業振替額4,079
税引前当期一般正味財産増減額	606	983	-377	
法人税、住民税及び事業税	71	71	0	
当期一般正味財産増減額	535	912	-377	
一般正味財産期首残高	105,589	104,677	912	100.9%
一般正味財産期末残高	106,124	105,589	535	100.5%
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等				
受取地方公共団体補助金(指)	6,863	3,798	3,065	保全2種 2/3補助
受取補助金等計	6,863	3,798	3,065	180.7%

収 支 (損 益) 予 算 書

(平成31年4月1日～平成32年3月31日)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：千円)

一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	4,518	5,359	-841	84.3%
当期指定正味財産増減額	2,345	-1,561	3,906	
指定正味財産期首残高	83,051	84,612	-1,561	98.2%
指定正味財産期末残高	85,396	83,051	2,345	102.8%
Ⅲ 正味財産期末残高	191,520	188,640	2,880	101.5%

平成30年度

事業報告書

自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日

豊かな村づくり



公益社団法人 杵築市地域活性化センター

主 な 活 動 報 告

年 月 日	活 動 内 容
平成30年 4月 2日	水稲播種開始
3日	ゴーヤ苗 出荷開始
11日	白ネ苗 納品開始
16日	輪菊苗(富士)植付作業開始(1号ハウス-1,3)
18日	小ギク苗 出荷開始(8月咲)
27日	輪菊苗(富士)植付作業開始(2号ハウス)
5月3～4日	ヒメ祭り広報出店
17日	大分県農業大学校 就職相談会
18日	ヤマシノギク苗 挿し芽作業開始
22日	監事監査
25日	杵築市集落営農連絡協議会通常総会
27日	田植え受託作業開始
30日	杵築市農業再生協議会幹事会
6月 4日	理事会
〃	カラヨモギ 定植開始
14日	輪菊苗(富士)穂取作業開始
15日	杵築市農業再生協議会通常総会
18日	ヤマシノギク苗 出荷開始
20日	杵築市地域活性化センター研修会開始(計5回)
22日	定時社員総会
25日	ホレーター養成圃場(川床)田植え
27日	市町村農業公社連絡協議会総会
7月 5日	理事会(新役員候補の選任)
11日	無人ヘリコプター研修会(スカイテック主催)
19日	水稲無人ヘリコプター防除第1回目開始(8/10迄:杵築含)
22日	職員採用第一次試験実施(3社合同:杵築・国東・山国)
26日	臨時社員総会(役員の変更)、理事会(副理事長の選任)
31日	輪菊苗(富士)植付作業開始(4号ハウス)
8月16日	ブロッコリー苗 播種作業開始(JAべっぷ日出町)
16日	職員採用第二次試験実施(3社合同:杵築・国東・山国)
17日	水稲無人ヘリコプター防除第2回目開始
24日	ホスギ苗 播種作業開始
9月 6日	早期水稲収穫作業受託開始
7日	ブロッコリー苗 出荷開始(JAべっぷ日出町)
14日	ホスギ苗 定植開始
23日	玉ネ苗 播種作業開始(JAおおいた東部事業部山香地域)
26日	カラヨモギ刈取、干し作業
28日	平成30年度上半期棚卸し

主 な 活 動 報 告

年 月 日	活 動 内 容
10月 3日	普通期米(ヒビカリ)稲刈り開始
4日	大分労働局主催 障害者就労セミナー参加
29日	SGS(籾サイレージ)資材受入
30日	平成30年度上半期会計等監査
31日	土壌改良材(水田堆肥散布)開始
11月 2日	SGS(籾サイレージ)籾受入開始
6日	SGS(籾サイレージ)製造開始
6日	佐賀県太良町議会経済建設常任委員会視察研修受入
6日	玉ねぎ苗出荷(JAおおいた東部事業部山香地域)
20日	社会保険調査(別府年金事務所)
10～11日	ふるさとまつり
15日	土壌改良材(水田ミネラルG散布)開始
21日	集落営農連絡協議会市長との意見交換会参加(サポート機構)
29日	理事会
12月 13日	小菊親株定植
14日	公益法人立入検査(県担当課・法務室)
17日	森林組合受託作業開始(鹿鳴越シネット張り、外)
25日	公益社団法人認定(サポート機構に係る変更認定申請)
平成31年 1月 7日	31年産ホスギ挿し穂作業開始(全農おおいた)
9日	薬草キキョウ・ミシマサイコ播種試験
15日	カヤノ農産自己取り供給開始
17～18日	大分県市町村農業公社連絡協議会役員会
31日	杵築市農業再生協議会幹事会
2月 13日	杵築市農業再生協議会臨時総会
13日	31年産白ねぎ播種開始(JAおおいた東部事業部山香地域)
14日	大分県市町村農業公社連絡協議会役職員研修会(別府市)
19日	サポート機構研修会(大分県杵築市地域強化研修会)
27日	ホスギ苗(新盆分)出荷開始
3月 6日	31年度ゴキヤ播種開始(JAおおいた東部事業部山香地域)
6日	薬草カワラヨモギ播種
13日	理事会
15日	小菊7月咲出荷開始
17日	サポート機構チラシ配布(新聞折込)
20日	ヤマジノギク親株搬入(花きセンター)・同定植
27日	杵築市耕作放棄地対策協議会総会
29日	監事会(活性化センター、山香グリーンエコランド 棚卸し)

【事業報告】

－ 総 括 －

農業・農村を取り巻く環境は、近年の農業施策の変動に加え、農業従事者の高齢化並びに後継者不足が進行し、農産物の価格低迷、生産コスト上昇さらに異常気象と様々な不安も重なり、依然厳しい状況にある。収益性の低い条件不利地域に於いては米価の下落等で一段と農業離れに拍車がかかり、遊休農地、荒廃化が進むことが懸念される。

こうした状況の中、不特定多数の者の利益の増進に寄与することを基本とし、杵築市全域に根ざした事業展開をし、杵築市の「農地を守り、担い手農家の育成と、地域農業の活性化」を目指して、各種事業に取り組んだ。

事業面では、公益目的事業として、農地利用集積円滑化事業に於いては、農地所有者の代理となり、担い手農家へ農地の面的集積1件約0.4haを集積、農地中間管理機構委託業務として19件6.5haのマッチングを実施した。

農地保全管理事業に於いては、飼料用米に向けた作業で、防除7.0haを受託した。水稻基幹作業では、前年比89.2%、計画比は86.5%に止まり、荒水取り・代かきを除く作業で計画を下回った。農閑期には土壌改良材の散布作業及び植林等の森林受託作業を受託し、周年作業の確保を図ったものの前年比、計画比をともに下回り、全体受託実績件数は前年比86.5%、計画比78.5%、768件407.2haとなった。

高次元農業推進事業に於いては、本年が4年目となる薬用植物栽培試験では、前年春に定植したキキョウ・ミシマサイコを2年株として掘上・乾燥・調整を行い出荷した。水稻苗は前年比96.2%、計画比94.4%の約5万1千枚を受注し概ね良好となり、そのうち飼料米苗を2千枚強を供給した。

花き苗は、花壇用苗で前年比110.2%、計画比71.5%となり、ヤマジノギク・コギク・ホオズキが減少したものの輪菊苗では前年比202.1%と供給量が回復し、全体で前年比135.3%約1,373千本の供給となった。野菜苗は、JA向け白ネギ・甘ネギが減少、直売所向け4品目を生産終了し前年比82.7%、計画比73.7%の25品目、約1,044千本を供給した。

山香グリーンエコランドに於いては、家畜排せつ物搬入量は、乳牛ふんの自家利用の増加やブロイラーふんの減少により前年比96.3%、計画比97.5%の5,301tと減少した。堆肥化処理過程は、副資材の刈草が必要十分量を確保出来ず、肥育牛ふんの搬入量増加、モミガラ確保、戻し堆肥の利用など対策を講じたが、冬期に処理したものは水分が多い状態となった。堆肥供給は、フレコン・バラ供給は前年比111.2%、計画比102.3%の2476.5m³、小袋供給は前年比92.7%、計画比81.1%の約39千袋であった。バラ・フレコンは、茶畑の植付準備に係るバラ堆肥散布が増加したが、小袋では、OEM供給先の都合により減少した。

収益目的事業の公共施設関連管理作業に於いては、山香地区の2路線及び作業回数が増加、支障木伐採作業受託は18件で前年比167.4%となった。また、害虫駆除は大きく増加した前年に比べ34.7%と減少し、76件と例年並みの請負件数となった。事業全体では、請負金額ベースで前年比104.3%となり計画比では109.4%となった。

経営面では、流動比率は547%であり理想水準を満たしている。棚卸資産に於いては、エコランド事業では前年比仕掛品が127.9%と増加、製品堆肥95.8%と減少した。堆肥化処理にあたり、家畜排せつ物の搬入量が前年比96.3%と減少、刈草等副資材及び肥育牛ふん等で戻し堆肥の利用を極力抑え、動力光熱費、作業委託費等の費用を抑えることで、製造原価は前年比99.7%とわずかに下降した。

固定資産に於いては、特定資産の48馬力トラクター取得・機械設備取得資金の積増しにより増加し、減価償却・機械購入時自己負担分と合わせ前年比102.7%となった。

このため資産は276万円増加し前年比101.1%の2億4,801万円となった。

これに対し負債に於いては、高次元農業推進事業での種苗費や資材費、農地保全管理事業での機械修繕費や退職金の未払い計上により流動負債が前年比97.2%、合計では前年比92.1%と減少した。

損益では、収入に於いて、水稻関連作業は荒水代搔を除き減少となり、森林組合受託業務が増加したほかは土壌改良材散布等その他受託作業も軒並み減少し、農地保全管理事業では、前年比89.6%の減少となり計画比も82.5%と下回った。高次元農業推進事業では、水稻苗・野菜苗、花き苗もヤマジノギク・小菊・ホオズキと減少したが、輪菊苗の供給量が回復傾向となり薬用植物栽培試験の受託と併せ前年比100.7%となり計画比95.4%になった。小袋供給の減少を茶園へのバラ供給で補うことの出来たエコランド事業では、前年比103.4%、計画比95.3%となった。公共施設等管理事業は、山香地区での路線及び作業回数増加、最低賃金上昇に伴う単価上昇、支障木作業増加により、蜂駆除は大幅に増加した前年に比べ例年並みと減少したが、前年比104.3%計画比109.4%となり、事業収益計が前年比98.7%の1億4,954万円となった。また、2年目の地域農業経営サポート機構補助金等を加え、経常収益計が前年比96.2%1億7,278万円となった。

費用に於いて、事業減少に伴う事由で全体的に減少したが、農地保全管理事業では、トラクターの導入により機械賃借料費、前年実施したサポート機構による飼料米生産試験に関係する事業雑費が大きく減少している。山香グリーンエコランドでは、原料搬入に係る特別値引きを終了したことによりeco推進活動費が大きく減少、公共施設管理事業で庭園管理の剪定作業による作業委託費が増加した。また、その他事業費としてバックホーのリース期間が終了した賃借費が減少、大きな部品交換が発生した車両費、PCの入れ替えに伴う消耗什器備品費、サポート機構の輪菊栽培試験に関わる燃料費が増加している。減価償却費は48馬力トラクターの導入があり償却完了分と合わせ微増となった。人件費は、34名体制としたが、入れ替わりに係る不在期間や職員の休職

もあり大きく減少し、経常費用計は前年比94.3%、計画費88.7%の1億6,246万円となった。

このため当期経常増減額に於いては、前年比143.8%の1,032万円となり314万円弱増加した。

経常外増減の部に於いては、使用見込みのない機械の売却及び除却を行い経常外増減額約3万円が計上された。

そして認定法18条により、収益事業等から生じた利益の50%を公益目的事業会計に繰入処理を行うため、収益事業から334万円を公益目的事業に繰入し、当期一般正味財産増減額は1,028万円となり、指定正味財産を加え、正味財産期末残高は前年比103.8%の716万円増加となる1億9,645万円、自己資本比率79.2%となった。

また、資金繰りは、上期に着手する事業が多いものの、収入自体は下期となる件もあり、特に期首から3ヶ月は、収入も少なく厳しい状況となっている。

今後も、耐用年数が経過し老朽化する機械等の更新に係る資金繰り及びその減価償却費の増加と厳しい状況が予見される。今以上に作業の効率化、機械設備の保守など更なる経費削減に努め、経営の安定化を図る。

目的、事業を再認識し、3年目地域農業経営サポート機構を含め、杵築市でのセンターの役割を見だし、地域保全並びに農業福祉的立場で住民が安心して暮らせるよう行政の補佐役として可能な限り取り組むよう努めていく。

1. 農地利用集積円滑化事業

杵築市の農業・農村振興には、効率的・安定的で生産性の高い農業経営の育成が重要である。このため増加傾向にある耕作放棄地を抑制し、農地の有効活用と担い手農家の規模拡大を目的に、農地所有者の代理となり、担い手農家への農地の面的集積を実施した。

農地所有者代理事業では、利用権設定等事務委任契約実績1件0.4haを締結し、農用地利用集積計画による利用権設定を締結することができた。また農地中間管理機構委託業務では、19件6.5haを実施成立した。なお農地中間管理機構の方針の転換により業務委託は本年度のみで終了している。

今後も市・農業委員会等の関係機関及び団体等と連携のもと、普及啓発活動に取り組み、機構との関係強化を築き、ひいては杵築市の農業発展のために、希望ある農業へと誘導できるよう重要な役割を担っていきたい。

2. 農地保全管理事業

地域農業、農地の保全、農業機械の過剰投資の抑制を目的に、農作業受託という形で実質的な担い手となり、農業支援に取り組んだ。

水稲基幹作業は、荒水取り・代かき作業で増加がみられたものの作業全体では減少傾向が続いている。稲刈については、湿田・倒伏等での委託がほとんどなく、前年比81.6%、計画比86.5%となり全体で29.8haを受託した。また、へり防除では、麦、水稲合わせ前年比89.2%、計画比86.5%の303.1haを受託した。水稲作業全体では前年比89.2%、計画比86.5%の約366haの受託となった。

農閑期には、堆肥等の土壌改良材の散布を実施した外、農閑期の重要な収入源となる森林組合受託事業では、シカネット設置等作業を主に受託し周年作業を確保した。

農作業受託業務は、適期作業を基本とするが、天候により作業が集中し遅延する場合がある。このため委託者と連絡を密に取り圃場の状態等を確認しつつ、適期を逃さぬよう努めるとともに、3年目となる地域経営サポート機構を通じて、協力体制を構築していきたいと考える。また、PR活動を積極的におこなうとともに、効率、技術、顧客サービスの向上を目指しつつ、不足するオペレーター養成を進め、杵築市全体の農業公社として、市民に親しまれるよう農家支援を図っていく。

3. 高次元農業推進に関する育苗センターの管理運営

杵築市農業の振興と発展を目的とし、農家の育苗作業の省力化及び経費の軽減化を図り、農家のニーズに合った安心安価な健苗生産供給に取り組んだ。

本年が4年目となる薬用植物栽培試験では、特に前年春に定植したキキョウ・ミシマサイコについて2年株として掘上・乾燥・調整を行うに至った。

水稲苗では、計画比94.4%となる約5万1千枚を受注し、そのうち飼料米苗生産では2,080枚を供給した。供給は順調であったが疎植栽培の広が

りもあり前年比約96.2%の減少となった。

花き苗では、輪菊苗で栽培方法を見直し品質を確保することで、前年比202%と供給量が回復傾向となったが、小菊苗・ヤマジノギク苗については年々小幅な減少傾向が続いており、ホオズキ苗でも高齢化により減少傾向に転じた。

野菜苗では、白ネギ・甘ネギの受注量減少し、前年比82.7%ほどの出荷に留まった。

例年に比べ、ここ数年の異常気象は作物に対して大変厳しいものがあり、育苗を行う上でも大きな弊害となっている。関係機関と協力しながら、そのような状況下でも健苗の出荷が行えるよう、検討を重ねていきたい。

4. 山香グリーンエコランド事業

【 搬入 】

家畜排せつ物の搬入量は、5,301tで前年比96.3%となり、数量として202tの減少、計画比97.5%となった。肥育牛糞においては搬入量の増加を促したため、423tの増加がみられたが天候による乳牛糞の自家利用が進んだことと、ブロイラー糞の搬入促進がうまくいかず減少している。各畜種における前年比での増減は乳牛糞は238tの減少、肥育牛糞は423tの増加、繁殖牛糞は一戸利用があり、35tの増加、採卵鶏糞は25tの増加、ブロイラー鶏糞においては446tの減少であった。

【 堆肥化処理過程 】

処理過程では、副資材の刈り草は前年に比べ確保出来たものの、十分な量とはいえず、肥育牛糞の受け入れ量の増加を促し、籾殻等の確保も行ったものの、副資材・肥育牛糞では十分な水分調整ができず、仕掛品の戻し堆肥としての利用や体積高の調整などの対応もしたが、冬期間に処理を行ったものは、水分が多い状態となっている。

【 堆肥供給 】

堆肥供給については、フレコン・バラ供給は前年比111.2%、計画比102.3%小袋供給は前年比92.7%、計画比81.1%であった。

フレコン・バラ供給では、バラ渡しが前年比156.5%、計画比155.6%フレコン配達は、前年比103.6%、計画比87.5%、フレコン散布については前年比86.8%、計画比80.0%であった。

バラ・散布は茶園の植付け準備に係る堆肥供給が面積の拡大等により増加している。本年においても杵築地域での畑等への配達、散布については増加がみられたが水田散布作業については減少しており計画を達成出来ず、前年実績を下回る形となった。

小袋堆肥は、工場渡しで前年比86.8%、計画比83.5%、配達は前年比95.6%、計画比80.1%となった。小売店、造園等の利用は増加傾向にあったが、JAについては全体的に減少している。また、OEM供給については供給先の都合により大きく減少した。

5. 杵築リース農園事業

杵築リース農園事業に於いては、奈多団地で1戸が経営拡大、守江下団地で1戸が新規参入、1戸が経営移譲という形で後継者と契約を締結した。

リース料精算に係る事務作業については、JAおおいた東部事業部からの請求を受け、各事業実施者（参入者）に対するリース料（農地賃借料、施設償還金、保険料等）の請求令書を発送し、随時リース料を徴収し、地権者並びにJAへの支払い事務を実施した。

6. 収益目的事業（公共施設等管理事業）

杵築市の景観・環境保全を目的とし、市道日出大田線ほか主要幹線の草刈り・維持管理、社会体育施設及び各種公園施設の管理など受託し、環境保全美化に努めた。あわせて住民の安全な暮らし、災害忌避を目的とし実施するスズメバチ等の害虫駆除も実施した。

本年は、山香地区の2路線及び作業回数が増加、支障木伐採作業受託は18件で前年比167.4%となった。また、害虫駆除は大きく増加した前年に比べ34.7%と減少し、76件と例年並みの請負件数となった。事業全体では、請負金額ベースで前年比104.3%となり計画比では109.4%となった。

来年度も、一般住民からの多種多様なニーズに対応できる体制作りに努め、杵築市における認知度や公社の存在意義を高めていくとともに、収益事業部門と位置付け、不採算である公益目的事業部門を補えるように事業展開を図っていく。

貸借対照表

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

会計名 会計全体

(単位：円)

科目	当会計期間末 (平成31年 3月31日 現在)	前会計期間末 (平成30年 3月31日 現在)	増 減	備 考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	58,342	70,659	-12,317	
普通預金	103,751,521	101,900,157	1,851,364	
事業未収入金	19,641,892	22,828,727	-3,186,835	51件：公益48件、収益3件
未収金	857,981	685,847	172,134	公益1件
未収収益	2,177	1,030	1,147	4件：公益3件、法人1件
たな卸資産	14,807,516	13,757,619	1,049,897	諸材料、原材料、仕掛品、製品
貯蔵品	16,626	10,500	6,126	切手、収入印紙
立替金	5,000	7,500	-2,500	エコ：マフレスト伝票
流動資産合計	<i>139,141,055</i>	<i>139,262,039</i>	<i>-120,984</i>	99.9%
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産定期預金(基)(指定)	30,000,000	30,000,000	0	市18000千円、JA12000千円
基本財産合計	<i>30,000,000</i>	<i>30,000,000</i>	<i>0</i>	100.0%
(2) 特定資産				
定期預金(特)(指定)	26,100,000	26,100,000	0	リース14100千円、共通12000千円
構築物(特)(指・一)	24,756,031	24,756,031	0	ガス資材一式、ガス設備、ガス設備材外
車輛運搬具(特)(指・一)	15,714,494	15,714,494	0	マフレスト レッガ ー外、6件
機械装置(特)(指・一)	57,238,775	56,606,675	632,100	無人へリMAXType II G外、33件
栽培特許料(特)(指・一)	615,000	615,000	0	晃花の富士、外1件
機械・設備取得資金(特)(指・一)	27,673,122	20,061,780	7,611,342	特定資産取得・改良資金
減価償却累計額(特)(指・一)(△)	-73,747,123	-68,060,580	-5,686,543	46件
特定資産合計	<i>78,350,299</i>	<i>75,793,400</i>	<i>2,556,899</i>	103.4%
(3) その他固定資産				
構築物	210,000	210,000	0	シャワユニット
工具器具備品	43,050	43,050	0	代表者外印
機械装置	4,858,500	5,118,435	-259,935	ハンマーナイフ外、10件
電話加入権	152,880	152,880	0	2件
減価償却累計額(△)	-4,744,489	-5,328,421	583,932	12件(工具器具備品、電話加入権除く)
その他固定資産合計	<i>519,941</i>	<i>195,944</i>	<i>323,997</i>	265.4%
固定資産合計	<i>108,870,240</i>	<i>105,989,344</i>	<i>2,880,896</i>	102.7%
資産合計	<i>248,011,295</i>	<i>245,251,383</i>	<i>2,759,912</i>	101.1%
II 負債の部				
1. 流動負債				
事業未払金	20,758,385	20,910,908	-152,523	65件：公益58件、収益7件
未払金	2,019,289	1,913,098	106,191	23件：公益14件、法人9件
預り金	171,962	211,455	-39,493	住民税、所得税等
賞与引当金	2,499,484	3,139,940	-640,456	
流動負債合計	<i>25,449,120</i>	<i>26,175,401</i>	<i>-726,281</i>	97.2%
2. 固定負債				
退職給付引当金	26,111,800	29,787,100	-3,675,300	
固定負債合計	<i>26,111,800</i>	<i>29,787,100</i>	<i>-3,675,300</i>	87.7%
負債合計	<i>51,560,920</i>	<i>55,962,501</i>	<i>-4,401,581</i>	92.1%
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
地方公共団体補助金	15,126,338	18,242,311	-3,115,973	特定資産等導入補助金
寄付金	66,369,329	66,369,329	0	基本金、特定預金、普通預金
指定正味財産合計	<i>81,495,667</i>	<i>84,611,640</i>	<i>-3,115,973</i>	96.3%

貸借対照表

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

会計名 会計全体

(単位：円)

科目	当会計期末 (平成31年 3月31日 現在)	前会計期末 (平成30年 3月31日 現在)	増 減	備 考
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)	基本財産
(うち特定資産への充当額)	(41,226,337)	(44,342,310)	(-3,115,973)	特定資産
2. 一般正味財産	114,954,708	104,677,242	10,277,466	
(うち基本財産への充当額)				
(うち特定資産への充当額)	(37,123,962)	(31,451,090)	(5,672,872)	特定資産
正味財産合計	196,450,375	189,288,882	7,161,493	103.8%
負債及び正味財産合計	248,011,295	245,251,383	2,759,912	101.1%

貸借対照表
(内訳表)

(平成31年3月31日現在)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

会計名 会計全体

(単位：円)

科目	公益目的 事業会計	収益等 事業会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金	58,342	0	0		58,342
普通預金	84,489,198	18,530,520	731,803		103,751,521
事業未収入金	16,537,562	3,104,330	0		19,641,892
未収金	857,981		0		857,981
未収収益	2,120		57		2,177
たな卸資産	13,173,566	1,633,950			14,807,516
貯蔵品	15,232	574	820		16,626
他会計短期貸付金	141,195,428	19,312,832	0	-160,508,260	0
立替金	5,000	0	0		5,000
流動資産合計	256,334,429	42,582,206	732,680	-160,508,260	139,141,055
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
基本財産定期預金(基)(指定)			30,000,000		30,000,000
基本財産合計			30,000,000		30,000,000
(2) 特定資産					
定期預金(特)(指定)	26,100,000				26,100,000
構築物(特)(指・一)	24,756,031				24,756,031
車輛運搬具(特)(指・一)	14,014,803	1,699,691			15,714,494
機械装置(特)(指・一)	57,238,775				57,238,775
栽培特許料(特)(指・一)	615,000				615,000
機械・設備取得資金(特)(指・一)	27,673,122				27,673,122
減価償却累計額(特)(指・一)(△)	-72,047,434	-1,699,689			-73,747,123
特定資産合計	78,350,297	2			78,350,299
(3) その他固定資産					
構築物	210,000				210,000
工具器具備品	10,500		32,550		43,050
機械装置	3,790,500	1,068,000			4,858,500
電話加入権			152,880		152,880
減価償却累計額(△)	-4,000,490	-743,999	0		-4,744,489
その他固定資産合計	10,510	324,001	185,430		519,941
固定資産合計	78,360,807	324,003	30,185,430		108,870,240
資産合計	334,695,236	42,906,209	30,918,110	-160,508,260	248,011,295
II 負債の部					
1. 流動負債					
事業未払金	20,407,118	351,267	0		20,758,385
未払金	1,659,818	0	359,471		2,019,289
預り金	171,962	0	0		171,962
他会計短期借入金	143,376,963	0	17,131,297	-160,508,260	0
賞与引当金	2,499,484				2,499,484
流動負債合計	168,115,345	351,267	17,490,768	-160,508,260	25,449,120
2. 固定負債					
退職給付引当金	26,111,800				26,111,800
固定負債合計	26,111,800				26,111,800
負債合計	194,227,145	351,267	17,490,768	-160,508,260	51,560,920
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
地方公共団体補助金	15,126,338	0			15,126,338
寄付金	36,369,329		30,000,000		66,369,329
指定正味財産合計	51,495,667	0	30,000,000		81,495,667
(うち基本財産への充当額)			(30,000,000)		(30,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(41,226,337)	(0)			(41,226,337)
2. 一般正味財産	88,972,424	42,554,942	△ 16,572,658	0	114,954,708
(うち特定資産への充当額)	(37,123,960)	(2)			(37,123,962)
正味財産合計	140,468,091	42,554,942	13,427,342	0	196,450,375
負債及び正味財産合計	334,695,236	42,906,209	30,918,110	△ 160,508,260	248,011,295

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名：会計全体 科目	当会計期間		増減	備考
	自 平成30年4月1日～ 至 平成31年3月31日	自 平成29年4月1日～ 至 平成30年3月31日		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	3,000	8,885	-5,885	
基本財産運用益計	3,000	8,885	-5,885	33.8%
特定資産運用益				
特定資産受取利息	4,113	9,257	-5,144	
特定資産運用益計	4,113	9,257	-5,144	44.4%
受取会費				
正会員受取会費	5,000,000	5,000,000		市300、JA200(山120、杵80)
正会員特別受取会費	2,000,000	2,000,000		市120、JA80(山48、杵32)
受取会費計	7,000,000	7,000,000		100.0%
事業収益				
農地賃借収益	5,496,190	5,587,150	-90,960	
農地手数料収益	670,000	820,000	-150,000	
農地利用雑収益	929,431	5,531	923,900	
農地利用集積円滑化事業収益計	7,095,621	6,412,681	682,940	110.6%
耕起作業収益	357,154	412,094	-54,940	
畦塗り収益	959,822	1,042,812	-82,990	
荒水代掻収益	717,316	530,824	186,492	
田植え作業受託収益	1,182,308	1,273,662	-91,354	
水稻収穫作業受託収益	5,019,301	6,354,383	-1,335,082	杵築1.6ha山香27.7市外0.46
水稻裏作作業受託収益	17,152	18,382	-1,230	大豆播種等
農作業人夫使用料	188,801	743,464	-554,663	水稻関連OP、SGS減少
薬剤散布収益	10,702,536	12,045,028	-1,342,492	303ha麦5ha稲291ha飼料米7ha
その他農地保全管理収益	8,519,081	8,467,413	51,668	森林組合増、堆肥・沓減
農地保全管理事業収益計	27,663,471	30,888,062	-3,224,591	89.6%
水稻苗生産収益	28,535,964	29,597,924	-1,061,960	50.979枚 96.2% 飼料米受託2080枚合
野菜苗生産収益	5,763,612	6,558,189	-794,577	82.7% 別ワラ・キャベ・ネギ類減
花卉苗生産収益	17,578,117	15,377,322	2,200,795	花壇1105花き135.8%+ワラ 87%小90%輸202%
育苗雑収益	4,425,840	4,402,088	23,752	薬用作物試験栽培
高次元農業推進事業収益計	56,303,533	55,935,523	368,010	100.7%
堆肥供給収益	19,686,947	18,367,654	1,319,293	フロン・ハラ111.2%、小袋92.7%
受託収益	3,360,266	3,542,526	-182,260	7配103.6%、7散86.8%、小配95.6%
家畜糞尿処理請負収益	2,825,955	3,117,426	-291,471	搬入減96.3%
エコポイント事業雑収益	10,368	16,912	-6,544	梱包用資材
山香グリーンエコポイント事業収益計	25,883,536	25,044,518	839,018	103.4%
基盤償還徴収金収益	769,210	769,210		
施設徴収保険料収益	280,000	1,080,000	-800,000	
施設徴収更新費収益	764,000	1,559,000	-795,000	
施設徴収償還金収益	4,809,642	4,809,640	2	
杵築リース農園事業収益計	6,622,852	8,217,850	-1,594,998	80.6%
公共施設等管理作業収益	25,683,341	24,612,717	1,070,624	単価増、路線・支障木増
収益事業収益計	25,683,341	24,612,717	1,070,624	104.3%
事業雑収益	288,042	382,728	-94,686	
事業収益計	149,540,396	151,494,079	-1,953,683	98.7%
受取補助金等				
受取地方公共団体補助金	9,047,981	12,685,847	-3,637,866	補助1800万、エコ補助金
振替：受取地方公共団体補助金	5,265,973	5,368,077	-102,104	指定正味財産からの振替額
受取地方公共団体助成金	600,000	600,000		円滑化事業活動助成金
受取補助金等計	14,913,954	18,653,924	-3,739,970	80.0%
雑収益				
受取利息	1,004	982	22	

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名：会計全体	当会計期間	前会計期間	増減	備考
科目	自 平成30年4月1日～ 至 平成31年3月31日	自 平成29年4月1日～ 至 平成30年3月31日		
その他雑収益	1,315,346	2,343,179	-1,027,833	
雑収益計	1,316,350	2,344,161	-1,027,811	56.2%
経常収益計	172,777,813	179,510,306	-6,732,493	96.2%
(2) 経常費用 事業費				
(集積) 農地賃借費	5,496,177	5,587,137	-90,960	
(集積) 事業雑費	6,031	5,531	500	会場費
農地集積円滑化事業費計	5,502,208	5,592,668	-90,460	98.4%
(保全) 諸材料費	3,327,706	3,116,059	211,647	※9:資材、水稲除草剤、※9:農業用面油
(保全) 機械賃借費	22,000	1,145,674	-1,123,674	コ本*
(保全) その他作業委託費	4,141,895	4,093,437	48,458	※1:防除委託
(保全) 保全管理調査・整備費	15,120	1,036,571	-1,021,451	飼料米生産試験減
(保全) 事業雑費	2,000	3,400	-1,400	
農地保全管理事業費計	7,508,721	9,395,141	-1,886,420	79.9%
(高次) 種苗費	5,359,536	5,638,530	-278,994	水稲種子
(高次) 肥料費	265,282	187,605	77,677	輪菊生産増
(高次) 農薬費	787,976	735,562	52,414	防除増
(高次) 諸材料費	5,319,240	5,341,103	-21,863	培土、レイ、ボット、外
(高次) 委託栽培費	344,215	555,798	-211,583	薬用作物試験栽培
(高次) 出荷経費	398,256	441,003	-42,747	ふれあい市場出荷経費
(高次) 試験研究費		3,620	-3,620	牛鶏堆肥
(高次) 事業雑費	84,400	91,440	-7,040	苗箱洗浄作業委託、外
高次元農業推進事業費計	12,558,905	12,994,661	-435,756	96.6%
(eco) 原材料	244,864	102,126	142,738	副資材(刈草搬入量増)
(eco) 諸材料費	1,477,467	1,203,837	273,630	小袋用袋
(eco) 燃料費	550,085	442,806	107,279	※1:カーブ燃料
(eco) 動力光熱費	2,632,727	2,388,058	244,669	電気代
(eco) 作業委託費	673,320	926,667	-253,347	堆肥製造作業委託、外
(eco) eco推進活動費	-22,165	1,072,995	-1,095,160	原料搬入特別値引減
(eco) 堆肥化雑費	15,120	30,000	-14,880	成分試験料
山香グリーンエコラント事業費計	5,571,418	6,166,489	-595,071	90.3%
(リース) 基盤受託金	769,210	769,210		2団地
(リース) 施設受託金	5,853,642	7,448,640	-1,594,998	2団地
杵築リース受託事業費計	6,622,852	8,217,850	-1,594,998	80.6%
(公共) 作業委託費	1,352,000	821,880	530,120	庭園剪定増
(公共) 請負委託仕入	399,381	307,275	92,106	害虫駆除剤、外
公共施設等管理事業費計	1,751,381	1,129,155	622,226	155.1%
事業原価計	39,515,485	43,495,964	-3,980,479	90.8%
(事) 役員報酬				
(事) 給料手当	62,231,530	67,371,418	-5,139,888	34名(職7職5臨7P15)前年92.4%
(事) 退職給付費用	2,402,200	2,351,700	50,500	引当金
(事) 法定福利費	9,020,072	9,317,708	-297,636	社会保険
(事) 福利厚生費	2,299,537	2,434,475	-134,938	退職金共済金、制服、健診、外
(事) 賞与	2,499,484	3,139,940	-640,456	引当金
人件費計	78,452,823	84,615,241	-6,162,418	92.7%
(事) 消耗品費	2,349,806	2,103,672	246,134	各事業:事務、用具等
(事) 宣伝広告費	105,840	243,162	-137,322	※1:供給推進費
(事) 通信運搬費	600,060	634,360	-34,300	各事業:電話、切手代
(事) 印刷製本費		13,284	-13,284	エコ封筒
(事) 図書研修費	33,810	158,531	-124,721	書籍
(事) 事務委託費	1,123,446	1,115,302	8,144	各振込手数料
(事) 租税公課	7,785,368	7,818,425	-33,057	各事業:印紙、自動車、固定資産税、外
(事) 会費分担金	9,000	9,000		高次:ふれあい市場会費
(事) 保守修繕費	5,067,523	4,950,914	116,609	修理等、田植機、コバ、無人※

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名：会計全体	当会計期間	前会計期間	増減	備考
科目	自 平成30年4月1日～ 至 平成31年3月31日	自 平成29年4月1日～ 至 平成30年3月31日		
(事) 保険料	2,094,538	2,357,460	-262,922	施設、農機等、傷害、高、 \rightarrow 増 他減
(事) 水道光熱費	2,172,224	2,022,634	149,590	各事業：水道、電気
(事) 賃借料	1,366,145	2,356,678	-990,533	租、高、車輦、公共、 \rightarrow 増、減、高所、高、農機
(事) 消耗什器備品費	1,211,169	843,966	367,203	高次：PC増、 \rightarrow 増
(事) 車輛費	2,041,359	1,285,819	755,540	各事業：車検、整備費外、 \rightarrow 増
(事) 施設管理費	507,463	508,453	-990	高次： \rightarrow 電気保安、警備保障、 \rightarrow 浄化槽費
(事) 燃料費	3,789,907	3,373,973	415,934	機械、設備燃料 \rightarrow 増
(事) 減価償却費	8,861,442	8,694,130	167,312	特定30種
(事) 旅費交通費	15,860	13,640	2,220	
(事) 雑費	164,997	175,624	-10,627	高次： \rightarrow ガム使用料、高速代
その他事業経費計	39,299,957	38,679,027	620,930	101.6%
事業費合計	157,268,265	166,790,232	-9,521,967	94.3%
管理費				
(管) 給料手当	2,004,210	2,140,897	-136,687	実作業配賦による増減 93.6%
(管) 法定福利費	319,623	357,352	-37,729	" 89.4%
(管) 福利厚生費	271,577	248,660	22,917	" 109.2%
人件費計	2,595,410	2,746,909	-151,499	94.5%
(管) 会議費	6,440	4,578	1,862	理事会・総会費用
(管) 消耗品費	132,555	149,192	-16,637	事務消耗品
(管) 通信運搬費	64,860	38,931	25,929	通信、切手
(管) 図書研修費	62,039	39,976	22,063	新聞、講習会受講等
(管) 事務委託費	695,832	1,092,304	-396,472	会計指導、税理士・社労士報酬、外
(管) 租税公課	25,000		25,000	重量税、印紙代
(管) 会費分担金	50,000	47,000	3,000	安全運転管理
(管) 保守修繕費	75,840	93,332	-17,492	
(管) 保険料	85,800	70,780	15,020	傷害保険、自動車保険
(管) 水道光熱費	78,509	72,877	5,632	
(管) 賃借料	461,491	461,742	-251	複合機、会計システム
(管) 消耗什器備品費	177,102	80,453	96,649	タムカード、レコーダ、書庫
(管) 車輛費	51,400		51,400	車検、車輛修繕
(管) 施設管理費	461,865	461,865		警備保障、 \rightarrow 収集、外
(管) 燃料費	45,936	74,504	-28,568	車輛燃料
(管) 旅費交通費	88,000	76,000	12,000	役員費用弁償
(管) 雑費	32,999	32,097	902	
その他管理費計	2,595,668	2,795,631	-199,963	92.8%
管理費合計	5,191,078	5,542,540	-351,462	93.7%
経常費用計	162,459,343	172,332,772	-9,873,429	94.3%
評価損益等調整前当期経常増減額	10,318,470	7,177,534	3,140,936	143.8%
当期経常増減額	10,318,470	7,177,534	3,140,936	143.8%
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
工具器具備品売却益	30,000		30,000	
固定資産売却益計	30,000		30,000	
経常外収益合計	30,000		30,000	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	4		4	
固定資産売却損計	4		4	
経常外費用合計	4		4	
当期経常外増減額	29,996		29,996	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	10,348,466	7,177,534	3,170,932	144.2%
他会計振替額				
税引前当期一般正味財産増減額	10,348,466	7,177,534	3,170,932	144.2%
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000		100.0%
当期一般正味財産増減額	10,277,466	7,106,534	3,170,932	144.6%

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名：会計全体	当会計期間	前会計期間	増減	備考
科目	自 平成30年4月1日～ 至 平成31年3月31日	自 平成29年4月1日～ 至 平成30年3月31日		
一般正味財産期首残高	104,677,242	97,570,708	7,106,534	107.3%
一般正味財産期末残高	114,954,708	104,677,242	10,277,466	109.8%
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等				
受取地方公共団体補助金	2,150,000	3,434,000	-1,284,000	保全1件
受取補助金等計	2,150,000	3,434,000	-1,284,000	62.6%
一般正味財産への振替額	5,265,973	5,368,077	-102,104	98.1%
当期指定正味財産増減額	-3,115,973	-1,934,077	-1,181,896	161.1%
指定正味財産期首残高	84,611,640	86,545,717	-1,934,077	97.8%
指定正味財産期末残高	81,495,667	84,611,640	-3,115,973	96.3%
III 正味財産期末残高	196,450,375	189,288,882	7,161,493	103.8%

正味財産増減計算書
(内訳集計表)

法人名 公益社団法人 千葉県地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位：円)

(自)平成30年4月1日～(至)平成31年3月31日現在

科目	公益目的事業会計					小計	法人会計	合計
	農地利用集積 円滑化事業	農地保全管理 事業	高次元農業推 進事業	山香グリーンエコノ ミクス事業	杵築リース農園事 業			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益計					1,406	2,707	3,000	3,000
特定資産運用益計						4,355,400	4,113	4,113
受取会費計							6,000	2,638,600
事業収益								
農地利用集積円滑化事業収益計	7,095,621							7,095,621
農地保全管理事業収益計		27,663,471						27,663,471
高次元農業推進事業収益計			56,303,533					56,303,533
山香グリーンエコノミクス事業収益計				25,883,536				25,883,536
杵築リース農園事業収益計					6,622,852			6,622,852
収益事業収益計							25,683,341	25,683,341
事業雑収益		258,042	30,000					288,042
事業収益計	7,095,621	27,921,513	56,333,533	25,883,536	6,622,852	123,857,055	25,683,341	149,540,396
受取補助金等計	790,000	10,410,505	2,797,243	857,981		14,855,729	58,225	14,913,954
雑収益計	49	213	286,264	4,202	7	1,020,278	5,337	1,316,350
他会計からの繰入額計								
為替差益								
経常収益計	7,885,670	38,332,231	59,417,040	26,745,719	6,624,265	5,378,385	25,747,566	172,777,813
(2) 経常費用								
事業費								
農地集積円滑化事業費計	5,502,208							5,502,208
農地保全管理事業費計		7,508,721						7,508,721
高次元農業推進事業費計			12,558,905					12,558,905
山香グリーンエコノミクス事業費計				5,571,418				5,571,418
杵築リース受託事業費計					6,622,852			6,622,852
公共施設等管理事業費計							1,751,381	1,751,381
農産物供給事業費計								
事業原価計	5,502,208	7,508,721	12,558,905	5,571,418	6,622,852	37,764,104	1,751,381	39,515,485
人件費計	1,366,622	9,290,001	21,310,659	14,435,525		19,954,012	12,096,004	78,452,823
その他事業経費計	225,734	12,324,036	14,376,995	6,924,657		835,548	4,612,987	39,299,957
事業費合計	7,094,564	29,122,758	48,246,559	26,931,600	6,622,852	20,789,560	18,460,372	157,268,265
管理費								
人件費計								2,595,410
その他管理費計								2,595,668
管理費合計								5,191,078
他会計への繰出額計								
経常費用計	7,094,564	29,122,758	48,246,559	26,931,600	6,622,852	20,789,560	18,460,372	162,459,343
評価損益等計								
当期経常増減額	791,106	9,209,473	11,170,481	-185,881	1,413	-15,411,175	7,287,194	10,318,470

正味財産増減計算書
(内訳集計表)

法人名 公益社団法人 千葉県地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位：円)

科目	(白)平成30年4月1日～(至)平成31年3月31日現在										合計				
	農地利用集積 円滑化事業	農地保全管理 事業	高次元農業推 進事業	山香カリーニング 事業	農園事 業	共通	小計	収益等事業会 公共施設管理 事業	法人会計						
2. 経常外増減の部															
(1) 経常外収益															
固定資産売却利益計		30,000									30,000				30,000
経常外収益計		30,000									30,000				30,000
(2) 経常外費用															
固定資産売却損計		4									4				4
経常外費用合計		4									4				4
当期経常外増減額		29,996									29,996				29,996
他会計振替前当期一般正味財産増減額	791,106	9,239,469	11,170,481	-185,881	1,413	-15,411,175	3,338,929	7,287,194	-2,544,141	7,287,194	5,605,413	-3,338,929	-2,544,141	10,348,466	
他会計振替額															
税引前当期一般正味財産増減額	791,106	9,239,469	11,170,481	-185,881	1,413	-12,072,246	3,338,929	3,948,265	-2,544,141	3,948,265	8,944,342	-3,338,929	-2,544,141	10,348,466	
法人税、住民税及び事業税															
当期一般正味財産増減額	791,106	9,239,469	11,170,481	-185,881	1,413	-12,072,246	3,338,929	3,948,265	-2,615,141	3,948,265	8,944,342	-3,338,929	-2,615,141	10,277,466	
一般正味財産期首残高	5,874,047	62,669,033	74,139,843	8,063,627	22,936	-70,741,404	80,028,082	38,606,677	-13,957,517	38,606,677	80,028,082	-13,957,517	-13,957,517	104,677,242	
一般正味財産期末残高	6,665,153	71,908,502	85,310,324	7,877,746	24,349	-82,813,650	88,972,424	42,554,942	-16,572,658	42,554,942	88,972,424	-16,572,658	-16,572,658	114,954,708	
II 指定正味財産増減の部															
受取補助金等計		2,150,000									2,150,000				2,150,000
一般正味財産への振替額		2,410,505	2,797,243								5,207,748	58,225		5,265,973	
当期指定正味財産増減額		-260,505	-2,797,243								-3,057,748	-58,225		-3,115,973	
指定正味財産期首残高		5,270,850	12,913,236								54,553,415	58,225	30,000,000	84,611,640	
指定正味財産期末残高		5,010,345	10,115,993								51,495,667	58,225	30,000,000	81,495,667	
III 正味財産期末残高	6,665,153	76,918,847	95,426,317	7,877,746	14,124,349	-60,544,321	140,468,091	42,554,942	13,427,342	42,554,942	140,468,091	13,427,342	196,450,375		

財産目録
(場所、物量等)
(平成31年3月31日現在)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

会計名 会計全体

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
【資産の部】			
I 流動資産			
現金	手元保管	公1: 運転資金として	58,342
普通預金(一般: 公益共通、収益、法人) ※当該預金残高は、当科目とその他の積立資産(機械・設備等取得資金)を合算した額である。	JAおおいた山香支店	公1、収1、法人会計の共通財産口座No: 0001015 公1: 運転資金として ¥11003401 公益事業に使用する寄付金 ¥10269329 収1: 運転資金として ¥12423210	49,235,829
普通預金(作業受委託: 農地保全)	JAおおいた山香支店		4,097,548
普通預金(育苗: 高次元)	JAおおいた山香支店	公1: 運転資金として 口座No: 0001805	13,067,581
普通預金(公益: 共通)	大分県信用組合	公1: 運転資金として 口座No: 4008638	1,298,037
普通預金(法人)	大分銀行山香支店	法人: 運転資金として 口座No: 5028035	730,797
普通預金(法人)	ゆうちょ 郵貯銀行	法人: 運転資金として 口座No: 17200-18584731	1,006
普通預金(高次元)	JAべっぶ日出亀川駅前支店	公1: 運転資金として 口座No: 0021111	441,127
普通預金(高次元)	JAべっぶ日出日出支店	公1: 運転資金として 口座No: 0011743	8,628,133
普通預金(高次元)	JAおおいた杵築支店	公1: 運転資金として 口座No: 0032043	2,683,812
普通預金(農地: 集積)	JAおおいた杵築市店	公1: 運転資金として 口座No: 0032214	3,939,572
普通預金(杵築: 保全)	JAおおいた杵築支店	公1: 運転資金として 口座No: 0043423	5,822,614
普通預金(eco)	JAおおいた山香支店	公1: 運転資金として 口座No: 0005606	13,722,065
普通預金(リース特会)	JAおおいた杵築支店LE	公1: 運転資金として 口座No: 0032203	83,400
普通預金計			103,751,521
預金計			103,751,521
事業未収入金(集積)	農地利用集積円滑化	公1: 農地貸借に関する未収金	1,844,382
事業未収入金(保全)	農地保全管理	公1: 農地保全に関する未収金	958,969
事業未収入金(高次)	高次元農業推進	公1: 育苗に関する未収金	6,889,376
事業未収入金(担手)	担い手育成		0
事業未収入金(eco)	山香グリーンエコランド	公1: 家畜糞尿処理・堆肥化に関する未収金	3,064,969
事業未収入金(リース)	杵築リース農園	公1: リース農園使用に関する未収金	3,779,866
事業未収入金(収益: 公共)	公共施設等管理	収1: 収益活動に関する未収金	3,104,330
事業未収入金計			19,641,892
未収金			857,981
未収収益		公1: 定期預金(特定資産)未収利息 ¥973 法人: 定期預金(基本財産)未収利息 ¥57	2,177
棚卸資産: 諸材料		公1: 農地保全・高次元・堆肥、収1に関する棚卸資産	4,778,895
棚卸資産: 原材料		公1: 堆肥化処理に関する棚卸資産	58,320
棚卸資産: 仕掛品		公1: 堆肥化処理に関する棚卸資産	4,021,454
棚卸資産: 製品		公1: 堆肥化処理に関する棚卸資産	5,948,847
たな卸資産計			14,807,516
貯蔵品: 切手	手元保管	公1: ¥8772、収1: ¥164、法人: ¥164	13,426
貯蔵品: 収入印紙	手元保管	公1: 施設利用等契約時に使用	3,200
貯蔵品計			16,626
立替金		公1: 大分県産業廃棄物処理業協会・処理伝票	5,000
流動資産合計			139,141,055
II 固定資産			
1 基本財産			
基本財産定期預金(基)	JAおおいた山香支店	法人の運転資金の財源とするため保有運用益を管理費の財源として使用 口座No: 00677466	30,000,000
基本財産合計			30,000,000
2 特定資産			
定期預金(特)(指定)	JAおおいた杵築支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的費用の財源として使用 口座No: 06019161	12,000,000
定期預金(特)(指定)	JAおおいた杵築支店	公益目的保有財産であり、リース農園事業費用に備えたもの 口座No: 07336715	14,100,000
特定資産定期預金計(特)			26,100,000
構築物(特)(指・一)	ハウス設備	公1: 公益目的事業に使用	24,756,031
車輛運搬具(特)(指・一)	軽トラック、軽箱バン、マニアスプレッダー	公1: 公益目的事業に使用 ¥14,014,803 収1: 収益目的事業に使用 ¥1,699,691	15,714,494
機械装置(特)(指・一)	産業用無人ヘリコプター、田植機、コンパインほか		57,238,775
栽培特許料(特)(指・一)	輪菊栽培特許料	公1: 公益目的事業に使用	615,000

財 産 目 録
(場 所、物 量 等)
(平成31年3月31日現在)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

会計名 会計全体

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
機械・設備取得資金(特)(指・一)	特定資産取得・改良資金 JAおおいた山香支店	特定資産所得・改良資金として積み立てる資産であり、資産取得資金として管理されている。 公1:定期預金 口座No:08847654 13,965,884 公1:普通預金 口座No: 0001015 6,095,896	27,673,122
減価償却累計額(特)(指・一)(△)		公1:公益目的使用資産減価償却 ¥-66,452,641 取1:収益目的使用資産減価償却 ¥-1,607,939	-73,747,123
特定資産合計			78,350,299
3 その他固定資産			
構築物	シェアユニット	公1:公益目的事業に使用	210,000
工具器具備品		公1:公益目的事業に使用 ¥10,500 法人:管理目的として使用 ¥32,550	43,050
機械装置	育苗台車、ディスプレイコーラー ハンマーナイフ	公1:公益目的事業に使用 ¥4,698,435 取1:収益目的事業に使用 ¥420,000	4,858,500
電話加入権	2回線	法人:管理目的として使用	152,880
減価償却累計額(△)		公1:公益目的使用資産減価償却 ¥-4,908,422 取1:資産減価償却 ¥-419,999	-4,744,489
その他固定資産合計			519,941
固定資産合計			108,870,240
資産合計			248,011,295
【負債の部】			
I 流動負債			
事業未払金(集積)	農地賃借料ほか	公1:農地賃借に関わる未払金	287,807
事業未払金(保全)	修繕費ほか	公1:農地保全に関わる未払金	1,303,378
事業未払金(高次)	諸材料ほか	公1:育苗に関わる未払金	5,663,948
事業未払金(eco)	通信運搬費	公1:家畜糞尿堆肥処理に関わる未払金(直接)	253,580
事業未払金(リース)	施設更新料ほか	公1:リース農園使用に関わる未払金	3,852,640
事業未払金(公益:共通)	法定福利費ほか	公1:公益目的の共通に関わる未払金	9,045,765
事業未払金(収益:公共)		取1:収益活動に関わる未払金	351,267
事業未払金計			20,758,385
管理外(法人) エラント	車輦費ほか	法人会計に関わる未払金 公1:家畜糞尿堆肥処理に関わる未払金(立替)	359,471 1,659,818
未払金計			2,019,289
預り金	源泉徴収税、住民税	公1に関わる預り金	171,962
賞与引当金	職員に係るもの		2,499,484
流動負債合計			25,449,120
II 固定負債			
退職給付引当金		公1:退職給付引当金	26,111,800
固定負債合計			26,111,800
負債合計			51,560,920
正味財産			196,450,375

平成31年度

株式会社	きつとすき
事業	計画書

市 築 杵

平成31年度事業計画

株式会社きつとすきは、杵築ブランド認定商品をはじめとする杵築市の産品を全国に広く流通していくことにより、本市商工業や農林水産業の更なる振興や地域の活性化を図ることを目的として、平成30年4月に設立されました。

2年目となる平成31年度は、これまでの杵築ブランド事業に加え、新たにふるさと納税事業やドローン事業を行うことにより、更なる経営基盤の拡充を目指す。

【杵築ブランド事業】

杵築ブランド認定品をはじめとする市内の産品を全国に展開・流通することにより、知名度の向上及び杵築市の産業振興や地域の活性化を図る。

1. 杵築ブランド推進事業

杵築ブランドの認定を受けた商品について市内で発表会及び市内外での販売会を通じて、杵築ブランド及び産品について知名度の向上と消費の拡大を図る。

2. 杵築ブランド人材育成支援事業

産品の杵築ブランド認定に取り組む市内事業者等を対象にバイヤー等を講師として招き、研修会を行うことで新商品の開発やパッケージデザインの変更指導等についてアドバイスを受け、今後の事業者の生産活動に活かす。

3. 杵築ブランド販路開拓支援事業

首都圏での販売会及び外食産業でのフェアを開催することで、首都圏における杵築ブランドの販路拡大を図る。また、バイヤーズガイドを作成することで、杵築ブランド認定品の周知及び広報を行う。

4. 杵築ブランド流通戦略調査業務

他の自治体における流通に関する戦略・ノウハウ等を調査する事により、今後の杵築ブランドをはじめとする地域製品の流通戦略の設計につなげる。

【ふるさと納税事業】

ふるさと納税運營業務として、寄附受付サイトの運営や寄附情報の管理、返礼品の発注・配送寄附証明等の作成等を受託する。

また、返礼品開発・広告宣伝業務として、寄附額の増額を図るため、返礼品開発支援や事業者の開拓、広告制作、寄附受付サイトのプロモーション等を行い、寄附総額3億円を目指す。

【ドローン事業】

取り組み初年度となる令和元年度については、市からの受託事業であるドローン操縦者育成事業やドローンを利用した撮影事業、また日本ドローン協会との連携によるドローン講習検定会などの事業を行い、ドローン事業のビジネスとしての仕組み作りとその体制づくりを図り、次年度以降の確実な収入源としての基盤整備の年とする。

【自主事業】

独自販路の着実な拡大、これまで素通しであった紀ノ國屋フェアなどの催事における販売の売上のルール見直し等を行うことにより、実利益の獲得を目指す。

- 小売り外食産業への杵築産品の卸販売。
- 自社製品の開発、販売。

平成31年度

株式会社	きつとすき	
予	算	書

平成31年度株式会社きつとすき予算

【売上】		単位：千円
種類	事業内容	金額
受託事業	杵築ブランド事業推進	7,541
	杵築ブランド人材育成支援事業	977
	杵築ブランド販路開拓支援事業	3,928
	杵築ブランド流通戦略調査事業	12,162
	ふるさと納税運営事業	4,600
	ふるさと納税PR事業	11,785
	ふるさと納税返礼品代金	75,000
	ふるさと納税推進報償金	9,000
	ドローン人材育成事業	780
	ドローン撮影事業	396
	ドローンVR事業	1,056
自主事業	ブランド事業	10,000
	ドローン事業	5,000
合 計		142,225

【支出】		単位：千円	
	項目	金額	
売上原価	仕入	98,000	
経 費	役員報酬	6,000	
	給与手当	14,880	
	法定福利費	5,000	
	福利厚生費	3,352	
	通信費	500	
	諸会費	50	
	手数料	55	
	使用料及び賃借料	492	
	リース料	30	
	保険料	10	
	荷造運賃	2,173	
	広告宣伝費	750	
	接待交際費	600	
	会議費	600	
	旅費交通費	1,000	
	車両費	340	
	消耗品費	100	
	事務用品費	500	
	研修費	12	
	雑費	180	
	容器包装費	1,000	
	販売促進費	2,000	
	減価償却費	830	
	備品消耗品費	800	
	管理諸費	300	
	研究開発費	50	
	租税公課	50	
		経費合計	41,654
	合 計		139,654

平成30年度

株	式	会	社	き	っ	と	す	き
事	業	報	告	書				

平成30年度事業報告
自 平成30年4月2日
至 平成31年3月31日

株式会社きっとすきの初年度業務は市の商工観光課、農林課、協働のまちづくり課からの「委託事業」と商社自らが企画・実施する「自主事業」に大別される。

I. 委託事業

1. 商工観光課委託業務

1) 平成30年度杵築ブランド市場調査業務（データベース作成）

(1)目的

市内の農産品・工芸品など地域に眠る魅力ある産品や生産者及び事業所等について調査・リストアップし、データベース化することにより、新たな杵築ブランドの開発・認定や、東京等の大都市圏をはじめとした日本各地へ流通・販売を図る。

(2)業務内容

① 地域資源調査

地域資源の調査及び棚卸を行うことで、新たな杵築ブランドをはじめとした地域産品の開発への寄与、また、それらの販売戦略の設計につなげる。

② BtoC 市場動向調査

産直品における末端ユーザーの嗜好を調査し、ユーザーの嗜好にあった商品の開発につなげる。

③ EC 可能性調査

EC に関し、ふるさと納税・観光協会 EC を視野に入れた、地域特産品の市場動向調査や適性価格・流通手段を調査し、現産品のマッチングや新商品提案を通し事業拡大につなげる。

(3)平成30年度に実施した事業

① 杵築市内の事業者（食品42社・427商品、工芸品20社・242商品、野菜20社・283商品、果物9社・123商品、水産物 耕地水産課および漁協・93商品）に対しヒアリング調査を実施し、データベース作成を行った。

② 5月から7月の間にふるさと納税を行った方500名に対し、杵築市の返礼品に対する消費者アンケートを実施、有効回答者107名のデータ解析を行い、杵築市産品に対するBtoC意識の調査報告書を提出した。

③ EC業界の現状、市場動向を分析し、地域ECのかかえる問題点を観光協会が運営するECサイト kit-suki.com の現状と照らし合わせて調査・報告書を提出した。

2)平成 30 年度杵築ブランド市場調査事業（マーケティング調査）

(1)目的

地域特産品の市場動向や適正価格の調査をし、その結果を生産者や事業者にフィードバックし、消費者ニーズに即した商品開発を提案することにより、杵築ブランドをはじめとする市内の農産物・加工食品・工芸品の販路の拡大を図る。

(2)業務内容

① 先進事例調査

他地域商社の取り組みを調査し、杵築市が参考とできるモデルを抽出する。

先発の地域商社、道の駅などの直売所を調査し、成功・失敗の要因を抽出し、杵築市が現状置かれている環境と照らし合わせながら、杵築市が商社や直売所活用の方向性を探る。

② 小売りマーケット調査

小売りマーケットに関し、地域産品の市場動向や適性価格を調査し、現産品のマッチングや小売りバイヤーの意見を反映した新商品提案を通して小売市場の販路開拓につなげる。

③ 飲食業流通形態調査

中食、外食産業に関し、地域特産品の市場動向や適正価格・流通手段を調査し、現産品のマッチングと各店舗の意見を反映した新商品提案を通し飲食業界への販路開拓につなげる。

④ インターネット調査

杵築ブランドに対するアンケート調査を行いデータ化する事で、商品・サービスに対する課題を抽出し改善につなげる。

(3)平成 3 0 年度に実施した事業

① 全国 9 か所の先進企業（地域商社 3 か所、道の駅 5 か所、農業アンテナショップ 1 か所）を実地調査し、調査報告書を提出した。

② 10 月 23 日、24 日の 2 日間、東京ビッグサイトにおける「地方銀行フードセレクション」に杵築ブランドブースを出展、約 50 人の小売りバイヤーと商談を行い、同時に杵築ブランドに関するバイヤーアンケートを実施、その集計を含め調査報告書を提出した。

③ 外食産業の業態詳細、市場規模、市場動向を調査し、地域商社の参入の可能性を探る報告書を提出した。

④ 平成 28 年に実施した「杵築市の地域資源とイメージに関する調査報告」を発展させた杵築市並びに杵築ブランドの認知調査をインターネット上において有効回答数 500 名で実施。調査結果を報告した。

2. 農林課委託業務

1)平成30年度杵築ブランド事業推進業務（市内発表会）

(1)目的

平成30年度に杵築ブランドの認定を受けた製品について市内で発表会及び販売会をすることで、杵築ブランド及び製品について知名度の向上と消費の拡大を図ることを目的とする。

(2)業務内容

- ① 市内で杵築ブランドの紹介と特産品の小売りイベントを1日程度開催する。
- ② 市内スーパーの店内で、杵築ブランドのPRと販売を実施する。
- ③ 市内のふるさと祭りや産業祭などのイベント時に事業者が販売するにあたって効果的なPRを実施する。
- ④ 上記の実施に必要なブース設置及び広報資材等の準備

(3)平成30年度に実施した事業

- ① 11月18日に開催された「着物の祭典イベント」に合わせて平成30年度ブランド発表会を実施した。
- ② 3月8日峠たていしの館にて杵築ブランド販売会を実施した。
- ③ 5月26日、27日世界温泉地観光物産展。6月16日城下町マルシェ。10月20日、21日きつき大茶会などのイベントにおいて杵築ブランドブースを出店、ゆるキャラ出動やドローンVRブース運営（空から気づこうきつきのきつき）、並びに杵築ブランドバルーン配布などのPR施策を実施した。
- ④ ふるさと産業館に可動型の杵築ブランドブースを企画・製作・設置した。

2)平成30年度杵築ブランド事業推進業務（販路開拓支援）

(1)目的

首都圏での販売会及び外食産業でのフェアを開催することで、首都圏における杵築ブランドの販路拡大を図る。また、バイヤーズガイドを作成することで、杵築ブランド認定品の周知及び広報を行うことを目的とする。

(2)業務内容

- ① 首都圏小売り販売会の開催支援
- ② 首都圏外食産業における杵築フェアの開催
- ③ バイヤーズガイドの作成

(3)平成30年度に実施した事業

- ① 1月17日から26日の10日間、杵築市フェアを紀ノ國屋青山店、等々力店、鎌倉店で実施した。期間中総売上金額4,532千円
- ② 9月1日から30日の1か月間、居酒屋チェーン「えん」の東京、神奈川、愛知の全13店

で杵築市フェアを実施した。期間中総取引金額 1,668 千円

③ 平成 31 年度版バイヤーズガイドを作成した。

3)平成 30 年度杵築ブランド事業推進業務（人材育成支援事業）

(1)目的

製品の杵築ブランド認定に取り組む市内事業者を対象に首都圏のバイヤー等を講師として招き、研修会を行うことで販路開拓や製品の改善についてアドバイスを受け、今後の事業者の生産活動に活かすことを目的とする。

(2)業務内容

- ① 杵築ブランド認定に取り組む事業者を対象に行われる研修会の事前準備、当日の開催業務等の支援を行う。
- ② 事業者の要望に基づき、6 次産業化プランナーを派遣する。

(3)平成 30 年度に実施した事業

- ① 市内 4 事業者（綾部味噌、松山堂、椎茸問屋徳一、木付や）に対し、金子事務所と連携し、計 6 回の商品開発ワークショップを実施した
- ② 株式会社グリーンサークルや株式会社森美と連携し、事業者のパッケージリニューアル他を支援した。

3. 協働のまちづくり課委託事業

1)向野地区・上地区地域資源開発支援事業

(1)目的

向野地区・上地区の生産者が栽培する農産物の種類や生産量を把握し、農産物直販へ向け集荷販売やふるさと納税の返礼品づくりにつなげていく。

(2)業務内容

- ① 農業カレンダー作成フォーム、調査内容策定
- ② 現地聞き取り、ワークショップの開催（3 回）
- ③ パッケージデザイン提案
- ④ ふるさと納税返礼品づくり報告書作成

(3)平成 30 年度に実施した事業

計 3 回のワークショップの実施を通して、向野地区・上地区の住民自治協議会の抱える諸問題の分析を行い、事業ごとの検証、数値目標設定、人材確保、育成システムの確立に向けて提言を行った。

必要性、実現性の高い事業から優先的な取り組みを進める過程で、データ収集と PDCA サイクル実行の仕組み作りを行い、地域資源の開発を通してふるさと納税の返礼品として商品化に向けての準備を行った。

II. 自主事業

1)商品開発

杵築ブランド、杵築のお茶菓子サブレ&ダコワーズを菊家と共同して商品化した。

高橋水産の焼きえび・かちえびを基に「赤えびアヒージョ」「赤えびイタリアンソース」「赤えびXO 醤」を企画・試作し、2月13日から15日の3日間、千葉幕張で開催された「第14回こだわり食品フェア2019」に出展し、市場性を検証した。

2)ソラシドエアにて杵築ブランド販売フェア実施

10月から12月の3か月間、ソラシドエア全線において「杵築ブランドフェア」を実施し、杵築のお茶菓子サブレの機内販売並びにきつき紅茶の機内サービスを行った。

3)杵築ブランドの販路開拓

以下を新たな販路として開拓、杵築ブランドを始めとする市内産品の常設・販売を実現した。

- ・別府湾サービスエリア
- ・風の郷
- ・峠たていしの館
- ・衆楽観
- ・菊家杵築店

4)国東半島宇佐地域世界農業遺産ビジネスコンテスト

同コンテストに応募し、準グランプリを受賞した。

5)各種委員会・協議会への参画

市が主催する以下の委員会・協議会に参画し、活動した。

- ・杵築城下町外国人観光客プロモーション業務委託業者選定委員会
- ・杵築市シティープロモーション実行委員会
- ・杵築市地域活性化映画誘致協議会

6)メディア露出

各種メディアに露出し、会社活動を通して、直接・間接的に杵築市のPRを行った。

- ・大分合同新聞3回（会社創立記事、「ひと」欄、Soda開催記事）
- ・西日本新聞2回（会社創立記事、Soda開催記事）
- ・読売新聞1回（商社&杵築ブランド紹介記事）

- ・OBS ラジオ 3 回「松井督治の NEWS WAVE」(杵築ブランド事業紹介)
- ・OBS テレビ 3 回「旬感・3 ch」(「えん」杵築市フェア特集、2019 大分県 10 大ニュース特番コメンテーター、Soda 開催ニュース)
- ・OAB テレビ 1 回(「えん」杵築市フェア紹介ニュース)

以上

平成30年度

株式会社	きつとすき		
財	務	諸	表

貸借対照表

商号 (株) きつとすき

代表者 大蔵 賢

平成31年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産	(16,123,191)	I 流 動 負 債	(8,942,117)
現 金 及 び 預 金	2,004,554	買 掛 金	1,962,388
売 掛 金	13,488,465	短 期 借 入 金	1,750,000
た だ 掛 引 資 産	710,872	未 払 金	4,299,229
貸 倒 引 当 金	△ 80,700	未 払 法 人 税 等	930,500
II 固 定 資 産	(4,167,792)	II 固 定 負 債	(3,984,768)
工 具 固 定 資 産	(4,167,792)	長 期 未 払 金	3,984,768
工 具 及 び 備 品	342,000		
リ ー ス 資 産	3,825,792		
無 形 固 定 資 産	(0)		
投 資 そ の 他 の 資 産	(0)	負 債 の 部 合 計	12,926,885
		(純 資 産 の 部)	
		I 株 主 資 本 金	(7,364,098)
		1. 資 本	4,500,000
		2. 資 本 剩 余 金	(0)
		3. 利 益 剩 余 金	(2,864,098)
		(1) そ の 他 利 益 剩 余 金	(2,864,098)
		繰 越 利 益 剩 余 金	2,864,098
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	(0)
III 繰 延 資 産	(0)	III 新 株 予 約 権	(0)
資 産 の 部 合 計	20,290,983	純 資 産 の 部 合 計	7,364,098
		負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	20,290,983

損益計算書

平成30年 4月 2日から
平成31年 3月31日まで

商号 (株) きつとすき

(単位：円)

科 目	金 額		
I 売 上 高 業 務 上 高 手 拭 売 上 商 品 売 上	33,859,833 72,042 6,017,611	39,949,486	39,949,486
II 売 上 原 価 期 首 た な 卸 商 品 仕 入 外 注 合 期 末 た な 卸 売 上 総 利	9,091,907 1,375,280	0 10,467,187 10,467,187 287,080	10,180,107 29,769,379
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 管 業 利 益		25,894,130	25,894,130 3,875,249
IV 営 業 外 収 益 受 取 利 息		49	49
V 営 業 外 費 用 貸 倒 引 当 金 繰 入		80,700	80,700
経 常 利 益			3,794,598
VI 特 別 利 益		0	0
VII 特 別 損 失		0	0
税 引 前 当 期 純 利 益 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 当 期 純 利 益		930,500	3,794,598 930,500 2,864,098

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成30年 4月 2日から
平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
旅 費 通 費	951,749
広 告 宣 伝 費	739,800
容 器 包 装 費	950,994
荷 造 運 賃	540,672
支 払 手 数 料	55,712
販 売 促 進 費	2,648,144
諸 役 員 報 酬	42,108
給 料 手 報 酬	6,000,000
法 定 福 利 費	5,731,022
厚 生 費	1,735,783
研 修 費	14,538
減 価 償 却 費	11,900
リ 一 ス 料	830,448
地 代 用 家 賃	30,255
事 務 消 耗 品 費	492,000
通 信 費	470,031
租 税 公 課	343,120
接 待 交 際 費	52,157
保 険 料	38,894
備 品 消 耗 品 費	7,626
管 理 諸 費	3,617,548
車 輦 費	264,600
研 究 開 発 費	86,210
会 議 費	40,318
雑 費	27,241
合 計	171,260
	25,894,130

たな卸資産の計算内訳

平成31年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商 品	287,080
貯 蔵 品	423,792
合 計	710,872

株主資本等変動計算書

商号 (株) きつとすき

平成30年 4月 2日から
平成31年 3月31日まで

(単位:円)

I 株主資本			
1. 資本金	当期首残高		4,500,000
	当期変動額		<u>0</u>
	当期末残高		<u>4,500,000</u>
2. 利益剰余金			
(1) その他利益剰余金			
繰越利益剰余金	当期首残高		0
	当期変動額		
	当期純利益	2,864,098	<u>2,864,098</u>
	当期末残高		<u>2,864,098</u>
その他利益剰余金合計			
	当期首残高		0
	当期変動額		
	当期純利益	2,864,098	<u>2,864,098</u>
	当期末残高		<u>2,864,098</u>
株主資本合計			
	当期首残高		4,500,000
	当期変動額		
	当期純利益	2,864,098	<u>2,864,098</u>
	当期末残高		<u>7,364,098</u>
II 評価・換算差額等			
	当期首残高		0
	当期変動額		<u>0</u>
	当期末残高		<u>0</u>
III 新株予約権			
	当期首残高		0
	当期変動額		<u>0</u>
	当期末残高		<u>0</u>
純資産の部合計			
	当期首残高		4,500,000
	当期変動額		
	当期純利益	2,864,098	<u>2,864,098</u>
	当期末残高		<u>7,364,098</u>

個別注記表

平成30年 4月 2日から

平成31年 3月31日まで

I. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 830,448円

II. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 45株

III. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、163,646.62円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、63,646.62円であります。

以上

